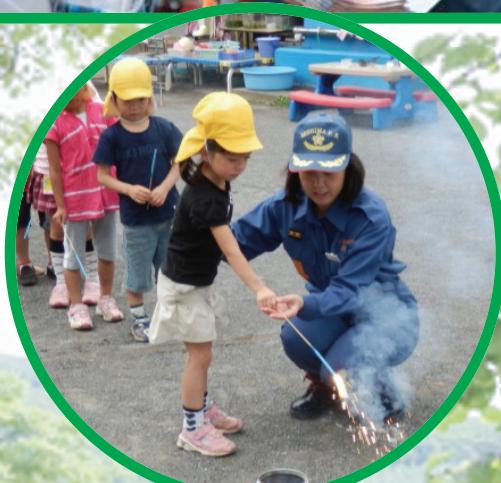


平成24年度

新時代に対応した消防団運営 活動事例集

消防団員確保対策を中心に



財団法人 日本消防協会

はしがき

全国の消防団員の皆様が、地域の安心・安全を守るため、日夜献身的なご尽力をされていることに対し、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、今年は消防団の前身となる消防組が明治27年の消防組規則の制定によって全国的に整備されるようになってから120年目を迎えます。先人のご努力の積み重ねによって、我が国の消防は着実な発展を遂げ、地域住民に最も身近な防災機関として、国民から多大な信頼と期待を寄せられています。

東日本大震災での消防団の活動は、地域の防災力がいかに重要であるかを改めて認識させるものであったと思います。

今、首都直下型地震や三連動地震など大規模な地震発生の切迫性が指摘され、台風や集中豪雨による風水害も後を絶ちません。

このような中で、消防団員の減少傾向が続くなど、消防団活動をはじめとする地域の防災について、多くの課題も明らかになってきています。消防団を中心とする地域総合防災力の強化が必要であり、これから時代に対応した消防、とりわけ消防団のあり方、消防団員確保対策、装備や訓練の充実、処遇改善について、日本消防協会としても努力を傾けて参りたいと思っております。特に消防団員確保対策については、いろいろな面にわたって総合的に進める必要があると考えられ、幅広い議論を行いながら必要な対策を着実に進めていくよう努力したいと思います。

このテキストには、このように地域防災の要として期待されている消防団の活動の充実強化のため、参考になる全国各地の消防団の活動事例を掲載しました。特に今回は、消防団員確保対策の事例に重点を置きました。それぞれの消防団が地域特性を活かした活動を充実させ、地域総合防災力の向上を進めるうえで、これが活用されれば幸いです。また、消防団がリーダー役を果たしながら、地域全体としての取り組みを進めることも必要であり、多くの消防団員の皆様はもとより、消防防災に関心のある幅広い皆様の一層のご活用を期待するものであります。

終わりに、本テキストの作成にあたり、貴重なご意見をいただきました消防庁国民保護・防災部防災課をはじめ、活動事例収集にご協力いただきました各都道府県消防協会、各消防団及び消防団事務担当者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成25年3月31日

財団法人 日本消防協会

平成24年度 新時代に対応した消防団運営 ～消防団員確保対策を中心に～

目 次

| | |
|------------------|---|
| はしがき | 1 |
| 目 次 | 2 |
| 全国大会等（日本消防協会等事業） | 4 |

第 章【消防団の現状と充実強化方策】

消防団の現状

| | |
|-------------|----|
| 1 消防団の活動状況 | 10 |
| 2 消防団の抱える課題 | 11 |

消防団の機能と役割

| | |
|-------------------------------|----|
| 1 多様な環境下にある消防団の機能と役割 | 13 |
| 2 「消防力の整備指針」における消防団の業務及び人員の総数 | 14 |

消防団の活性化対策

| | |
|--------------------|----|
| 1 消防団組織・制度の多様化方策 | 16 |
| 2 消防団と事業所との連携体制の強化 | 17 |
| 3 消防団への参加促進・活性化対策 | 19 |

第 章【消防団活動事例】

| | |
|----------|----|
| 消防団員確保対策 | 24 |
|----------|----|

| | | |
|------|----------|--------------------------------|
| 愛媛県 | 松山市消防団 | ～まつやま だん団プロジェクト |
| 鹿児島県 | 薩摩川内市消防団 | ～消防団支援優遇制度 |
| 岐阜県 | 加茂地域 | ～消防カモーン～加茂地域消防団応援サービス～ |
| 愛知県 | 瀬戸市消防団 | ～消防団員確保の取り組み |
| 愛知県 | 豊橋消防団 | ～ええじゃないか消防団～消防団応援事業所～ |
| 石川県 | 内灘町消防団 | ～安心・安全サポート事業 |
| 山口県 | 下関市消防団 | ～自動販売機を活用した消防団員募集 |
| 大阪府 | 摂津市消防団 | ～機能別消防分団 |
| 神奈川県 | 川崎市宮前消防団 | ～宮前消防団の団員募集活動 |
| 長崎県 | 佐世保市消防団 | ～あなたの力が郷土を救う！ |
| 秋田県 | 鹿角市消防団 | ～市民を守る魅力ある消防団づくり |
| 三重県 | 三重県消防協会 | ～バスマスクによる消防団員募集 |
| 愛知県 | 愛知県 | ～もっと知ろうよあいちの消防団 ～消防団活動発信事業～ |
| 青森県 | 弘前市消防団 | ～消防団員確保対策 |
| 福島県 | 福島県消防協会 | ～消防団員入団促進パンフレット作成 |
| 富山県 | 砺波市消防団 | ～消防団員確保の広報誌作成 |
| 広島県 | 福山市消防団 | ～消防団員募集の「のぼり」を製作 |
| 新潟県 | 魚沼市消防団 | ～消防戦隊ウオヌマン |
| 三重県 | 四日市市消防団 | ～消防団通信 |
| 愛知県 | 安城市消防団 | ～新入団員対象者説明会 |

| | | |
|-------------------------------------|---------------------|-----------|
| 新潟県 長岡市消防団 | ～未来の防災リーダー育成講座 | |
| 神奈川県 横浜市神奈川消防団 | ～中学生に対する「防災スクール」 | |
| 三重県 松阪市消防団 | ～消防団員確保対策の成果 | |
| 訓練・災害対応 | | 50 |
| 熊本県 多良木町消防団 | ～地区体育祭で災害対応訓練実施 | |
| 大阪府 岸和田市消防団 | ～林野火災訓練を実施 | |
| 千葉県 千葉市消防団 | ～大規模地震対応訓練を実施 | |
| 京都府 城陽市消防団 | ～火災現場想定訓練を実施 | |
| 防災教育 | | 54 |
| 愛知県 名古屋市中川区消防団連合会 | ～消防団マイスター制度 | |
| 千葉県 浦安市消防団 | ～浦安市少年消防団 発足 | |
| 愛知県 名古屋市杉村消防団 | ～地域住民と共に防災活動に励む消防団 | |
| 愛知県 名古屋市六郷北消防団 | ～普通救命講習会を実施 | |
| 北海道 上川中部消防組合上川消防団 | ～手作り人形劇による防火指導 | |
| 北海道 北十勝消防事務組合音更消防団 | ～女性消防団員による新たな予防啓発活動 | |
| 奈良県 奈良市消防団 | ～消防団活性化事業 | |
| 機能別団員 | | 63 |
| 滋賀県 栗原市消防団 | ～機能別消防団「金勝山林分団」 | |
| 女性消防団員の活動 | | 64 |
| 福岡県 福岡市早良消防団 | ～女性消防団員広報部会 チャイムズ | |
| 静岡県 三島市消防団 | ～三島市女性消防団 | |
| 三重県 伊勢市消防団 | ～防災ソングを作詞作曲 | |
| 北海道 夕張市消防団 | ～女性消防分団が誕生 | |
| 神奈川県 厚木市消防団 | ～女性消防団員基礎教育訓練 | |
| 山梨県 甲斐市消防団 | ～女性消防団員による予防啓発活動 | |
| 愛知県 長久手市消防団 | ～女性消防団 ポピーズ通信 | |
| 三重県 津市消防団 | ～機能別消防団員制度 | |
| 奈良県 奈良市消防団 | ～やまとなでしこ体操 | |
| 地域住民への広報・PR活動 | | 74 |
| 高知県 四万十市消防団 | ～こども☆防災フェス2012 | |
| 兵庫県 三木市消防団 | ～消防大会を開催 | |
| 岩手県 一関市消防団 | ～住民と協同で消防屯所にペイント | |
| 長野県 上田市消防団 | ～広報部会による活動 | |
| その他の事例 | | 81 |
| 第 章【新時代に対応した消防団運営方策の普及に係る講座】 | | |
| 平成24年度実施状況(各講座詳細) | | 88 |
| 日本消防協会からのお知らせ | | |
| 消防団活動事例ページのご案内 | | 94 |
| 全国消防団PRページへの登録方法 | | 96 |

全国大会等（日本消防協会等事業）

1 第18回全国女性消防団員活性化秋田大会（平成24年11月16日 秋田県秋田市）



活動事例発表



火災予防啓発劇



パネルディスカション



柳葉敏郎氏による記念講演



情報交流会

2 第23回全国消防操法大会（平成24年10月7日 東京 臨海広域防災公園）



競技風景



震災対応訓練

3 女性消防団員リーダー会議（平成24年12月14日　日本消防会館）



4 少年消防クラブ交流会（平成24年8月7日から9日　岩手県）



被災地見学



炊き出し訓練



合同訓練



5 第39回消防団幹部特別研修（平成25年1月15日から17日 日本消防会館）



6 第12回消防団幹部候補中央特別研修 男性の部

（平成25年2月5日から7日 日本消防会館）



7 第12回消防団幹部候補中央特別研修 女性の部

（平成25年2月13日から15日 日本消防会館）



第Ⅰ章

消防団の現状と充実強化方策



消防団の現状

1 消防団の活動状況

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、住民有志により組織された市町村の消防機関である。平成24年4月1日現在、全国で2,234団(2,753分団)が設置されており、約87万人が消防団員として活躍している。

消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ災害防御活動を行っており、一般住宅における消火活動はもちろんのこと、特に地震や風水害等の大規模災害時、林野火災時には、多数の消防団員が出動し、被害の拡大防止に活躍している。

一方で、災害時以外の活動においても、個別訪問による防火指導や応急手当の普及指導、地域の行事の際の警戒等、地域に密着した活動を幅広く行っている。

また、近年増加傾向にある女性消防団員も、優しさやきめ細やかな配慮を生かし各地域において活躍している。

表1
消防団の現況

| 区分 | 平成24年4月1日現在 | 平成23年4月1日現在 |
|----------|-------------|-------------|
| 消防団数 | 2,234 | 2,263 |
| 分団数 | 22,753 | 22,839 |
| 非常勤消防団員数 | 874,193 | 879,978 |

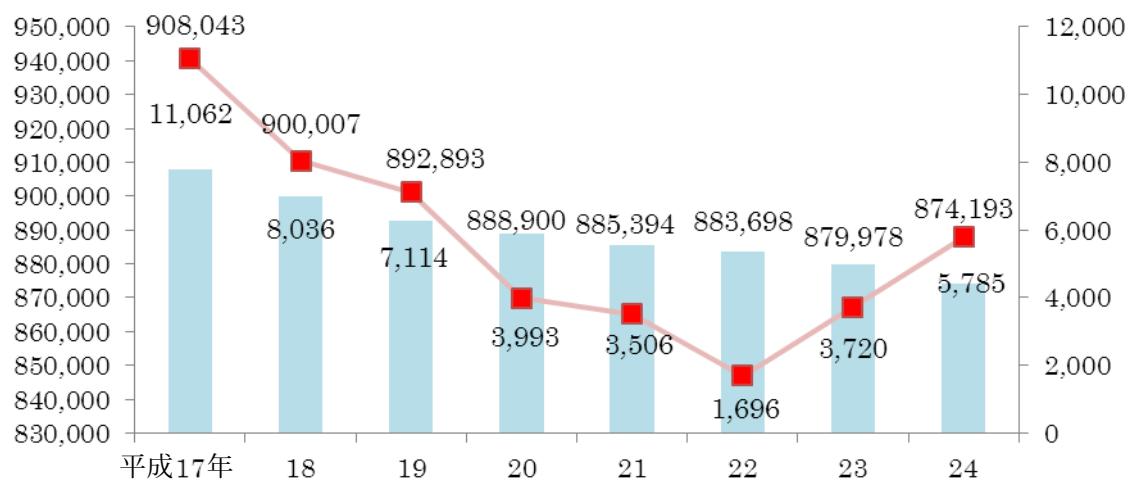
2 消防団の抱える課題

近年の社会情勢の変化は、消防団の運営、活動等に様々な影響を及ぼしており、次のような問題点が指摘されている。

(1) 団員数の減少

消防団員数は、昭和27年当時200万人以上であったが、平成2年には、ついに100万人を割り込み、なお減少が続いている。しかし、消防団員総数が減少する中でも、女性消防団員数は年々増加している。

図1 消防団員数及び対前年減少人数の推移

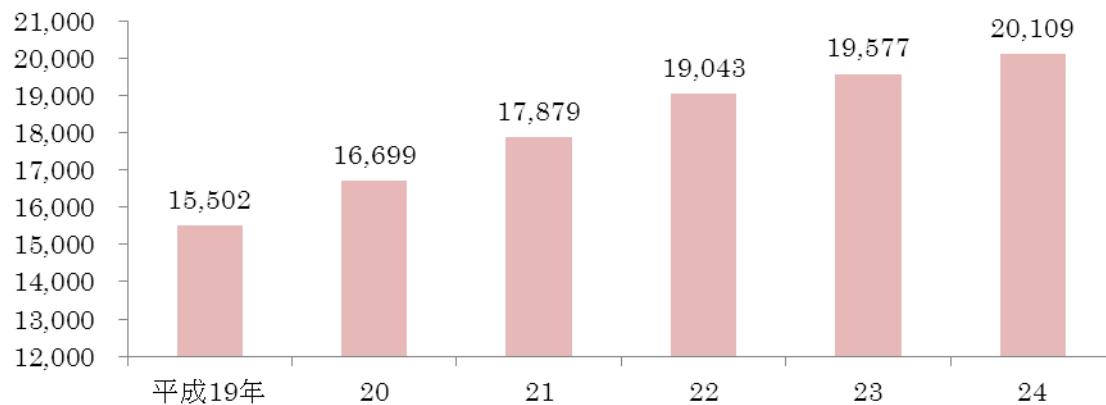


注) 1 「消防防災・震災対策現況調査」により作成

注) 2 東日本大震災の影響により平成23年の岩手県、宮城県及び福島県の消防団員数及び消防職員数については、前年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

注) 3 東日本大震災の影響により、平成24年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

図2 女性消防団員数の推移



注) 1 「消防防災・震災対策現況調査」により作成

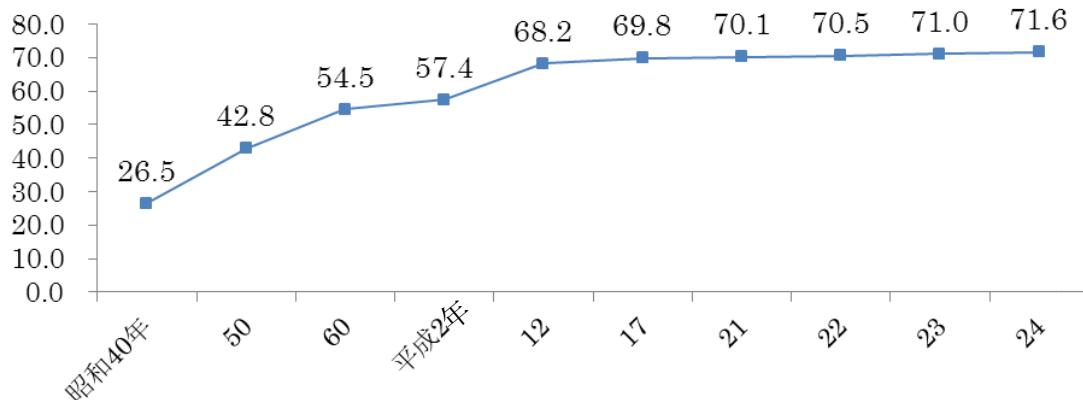
注) 2 東日本大震災の影響により平成23年の岩手県、宮城県及び福島県の消防団員数及び消防職員数については、前年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

注) 3 東日本大震災の影響により、平成24年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

(2) 被雇用者団員（サラリーマン団員）の増加

消防団員に占める被雇用者の割合は約7割までに高まっており、一般的な職住分離の傾向と相まって地域によって昼間における消防力の低下が懸念されている。

図3 被雇用者団員比率の推移（単位 %）



注) 1 「消防防災・震災対策現況調査」により作成

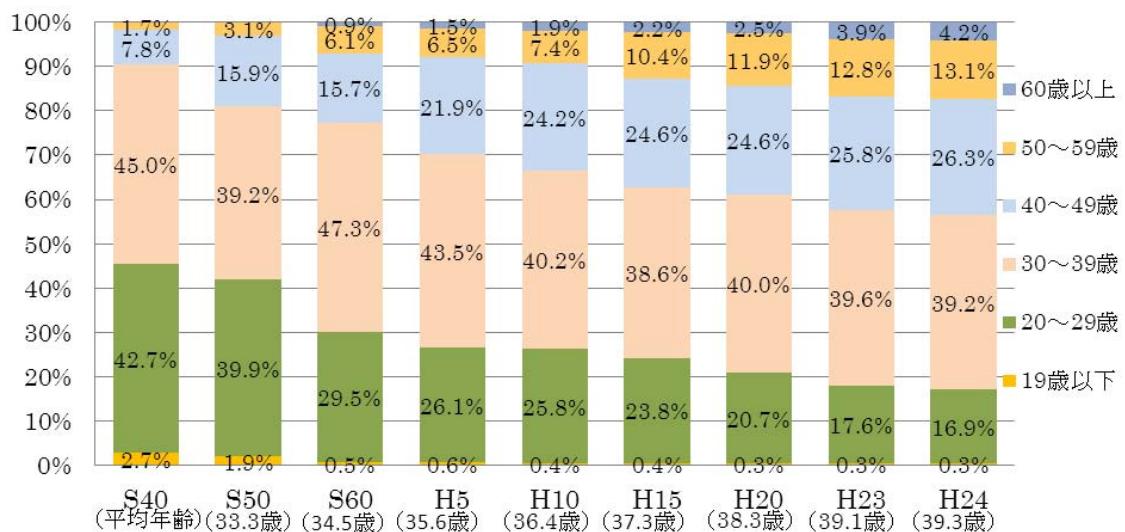
注) 2 東日本大震災の影響により平成23年の岩手県、宮城県及び福島県の消防団員数及び消防職員数については、前年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

注) 3 東日本大震災の影響により、平成24年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

(3) 団員の中・高齢層の増加

消防団員の年齢構成は、次図のとおりであるが、全体として団員数が年々減少している中で、40歳以上の消防団員の割合が増加し、また30歳未満の消防団員の割合が徐々に低下している。

図4 消防団員の年齢構成比率の推移



注) 1 「消防防災・震災対策現況調査」により作成

注) 2 東日本大震災の影響により平成23年の岩手県、宮城県及び福島県の消防団員数及び消防職員数については、前年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

注) 3 東日本大震災の影響により、平成24年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値（平成22年4月1日現在）により集計している。

注) 4 S40、S50は「60才以上」の統計が存在しない。また、S40は平均年齢の統計が存在しない。

消防団の機能と役割

1 多様な環境下にある消防団の機能と役割

消防団の活性化を図るための方策を検討するにあたって、まず、現在の多様な環境下におかれた消防団の状況を勘案し、その役割を明確化する必要があり、消防団機能の特性、他の消防機関との関係等から検討してみる。

(1) 消防団の機能と特性

まず、消防団の機能と特性としては次の6点に集約できる。

ア 普遍性

消防団員は、全国の至る所にあり、いかなる場所で災害が発生しても即座に対応することが可能である。

イ 地域密着性

消防団員は、その地域に居住又は勤務している人が団員となっているので、地域との繋がりが深く、各種事情について豊富な知識を有している。

ウ 即時対応力

消防団員は、定例的に教育訓練を受けており、消防に関する相当程度の知識及び技能を有している。

エ 多面性

消防団員は、単に消火作業を行うのみならず、火災予防の面でも住民指導、巡回広報等を実施している。また、風水害及び地震等、各種災害防御活動に当たっているほか、遭難者の捜索救助、各種警戒等の活動を行っている。

オ 要員動員力

全国で約87万人と消防職員の約6倍の人員を有し、特に大規模災害時及び林野火災時には、その動員力によって効果的な災害防御に当たることができる。

カ 広域運用性

消防団は、大規模災害時には相互応援協定等により、その管轄区域を越えて広範囲な活動を行うことができる。

(2) 他の消防組織との関係における消防団の役割

他の消防組織との関係における消防団の役割については、次の3点が挙げられる。

ア 常備消防機関との関係

常備消防の整備状況及び各地域の自然的条件、社会的条件により様々な役割分担が考えられる。常備消防の比重が高い地域では、通常の火災では常備消防が活動の中心となることから、消防団はその補完的役割を果たすこととなる。また、予防面については、各戸訪問時的一般家庭中心のきめ細やかな活躍が期待される。

イ 自主防災組織との関係

消防団は、平常時にあっては自主防災組織等に対して指導・育成を行う役割が期待され、また大規模災害時にあっては、消防団がリーダーシップをとって自主防災組織を始めとする地域の様々な組織やボランティアグループ等と共に統一のとれた災害防御活動を行う必要がある。

ウ 自衛消防組織との関係

事業所の自衛消防組織は、相当程度の施設・装備を有しているものもあるため、平素から消防団としても地域内の事業所等の自衛消防組織と密接な連携を図り教育訓練等の指導を行い、災害時には消防団主導の下、各組織を結集して防御活動に当たることが期待される。

このように、今日における消防団は、地域社会における消防防災の中核的存在として、従来からの任務である消火活動はもちろんのこと、防火指導を兼ねた独り暮らしの高齢者宅への戸別訪問、イベント等での警戒、応急手当の普及指導等、地域に密着した幅広い活動を行うことが期待されている。

また、多数の人員を必要とする大規模災害時においては、地域密着性、要員動員力及び即時対応力を発揮し、効果的な災害情報の収集伝達、避難誘導及び災害防御活動を行っていくことが期待される。

2 「消防力の整備指針」における消防団の業務及び人員の総数

消防団の行う業務については、各地における消防団が平常時に、きめ細やかな火災予防活動や応急手当の普及指導等の地域に密着した多様な活動を行っている実態や、さらに阪神・淡路大震災以降、再認識された消防団の持つ組織力を踏まえて、消防力の整備指針第38条に明記されており、業務の具体例は第1項に示すとおりである。

第38条 消防団は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 火災の鎮圧に関する業務
- (2) 火災の予防及び警戒に関する業務
- (3) 救助に関する業務
- (4) 地震・風水害等の災害の予防、警戒、防除等に関する業務
- (5) 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関すること
- (6) 地域住民等に対する協力、支援及び啓発に関する業務
- (7) 消防団の庶務の処理等の業務
- (8) 前各号に掲げるもののほか、地域の実情に応じて、特に必要とされる業務

2 消防団における人員の総数は、次の各号に掲げる数を合算して得た数とする。

- (1) 消防団の管理する動力ポンプの種類ごとに、第29条第1項及び第2項に規定する消防隊の隊員の数
- (2) 大規模な災害時等における住民の避難誘導に必要な数として、消防団の管轄区域の小学校区内の可住面積を0.06平方キロメートルで除して得た数に1.1を乗じ、地震、風水害その他の自然災害の発生の蓋然性等を勘案した数を加えた数

3 前項の場合において、同項第2号に規定する0.06平方キロメートルについては、人口密度、地域における諸事情等を勘案して増減させることができる。

また、消防団員の総数は、組織の見直しや市町村合併等に伴う条例定数の削減及び実員数の減少により全国的に減少し続けており、地域の消防力の低下が懸念されるところである。

このため、消防団員の総数の決定に当たって、地域の通常火災に対応するための団員数や、大規模災害時等における避難誘導及び消火活動等に必要な団員数を定めるとともに、離島、水害危険等の地域における諸事情等に応じ、必要な団員数を考慮している。よって、各市町村は、必要な消防団員の総数について、同条第2項に示すとおり算定し、より一層の消防団員の確保に努めることが要請される。

消防団の活性化対策

1 消防団組織・制度の多様化方策

昼夜を問わず、全ての災害、訓練に参加する消防団員（以下、「基本団員」という。）を基本とした現在の制度を維持したうえで、必要な団員の確保に苦慮している各市町村が実態に応じて選択できる制度として、各種の多様化方策を導入した。

その概要については次のとおりである。

(1) 機能別団員（特定の活動、役割のみに参加する団員）

- ア 基本団員と同等の活動ができない人が、入団時に決めた特定の活動・役割及び大規模災害等に参加する制度である。
- イ 消防職員・団員O B、被雇用者、女性等の有効な活用が可能である。

(2) 機能別分団（特定の活動、役割を実施する分団）

- ア 特定の役割・活動を実施する分団・部を設置し、所属団員は当該活動及び大規模災害対応等を実施する制度である。
- イ 大規模災害対応、火災予防対応等を目的とした分団の設置や事業所単位での分団設置が可能である。

(3) 休団制度

- ア 団員が長期出張や育児等で長期間活動することができない場合、団員の身分を保持したまま一定期間の活動休止を消防団長が承認する制度である。
- イ 休団中の大規模災害対応、休団期間の上限は各消防団で規定する。
- ウ 休団中は報酬の不支給、退職報償金の在職年数不算入が可能。

(4) 多彩な人材を採用・活用できる制度

- ア 条例上の採用条件として性別・年齢・居住地等を制限している例があるので、条例の見直しにより幅広い層の住民が入団できる環境の整備が必要。
- イ 年間を通じての募集・採用の実施。

2 消防団と事業所との連携体制の強化

全消防団の約7割が被雇用者であることから、消防団活動への一層の理解と協力を得るために、被雇用者消防団員の活動環境の整備、事業所との新たな協力関係の構築、事業所における防災知識・技術に関するストックの活用、消防団活動への協力が社会責任及び社会貢献として捉えられる環境づくり等の各種方策を各都道府県及び市町村に示した。

概要は次のとおり。

(1) 事業所における被雇用者消防団員の活動環境の整備

～ 消防団活動に関する事前打ち合わせについて ～

従業員である被雇用者団員においては、雇用事業所からの理解を得て、消防団活動が行える環境整備が必要である。そのため、消防団等から事業所にアプローチし、まずは、相互で話し合い協力していただくことが必要である。その上で、事業主と消防団で予め消防団活動について、必要な事項（例えば、勤務時間中における災害出動及び訓練等への配慮として、ボランティア休暇扱いにするなど）があれば、それを取り決める。そして、必要な場合は、覚書きの締結等により調整することにより、被雇用者消防団員の活動環境を整備する。

なお、既に消防団と事業所の協力体制が築かれている場合においては、その関係を継続的に維持・発展させていくように努める。

(2) 事業所との新たな協力関係の構築

～ 消防団と事業所との連携強化策について ～

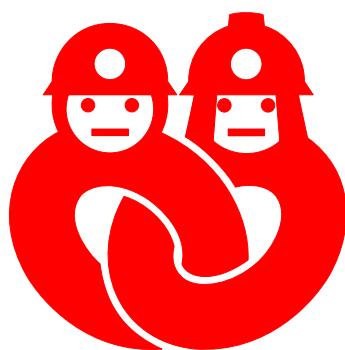
大規模災害発生時において、事業所が有する重機等の防災資機材の提供と併せて、資機材の操縦技術を有する従業員が機能別団員（機能別団員とは、17年度に新たに構築した制度であり、特定の災害・活動のみに参加する消防団員をいう。）となり、事業所が社会責任及び社会貢献の一つと捉え、地域防災活動に協力してもらえる関係を構築する。

(3) 事業所における防災知識・技術に関するストックの活用

～ 危機管理アドバイザー消防団員について ～

大規模、特殊災害については、消防職員や消防団員の知識・技術だけでは、迅速かつ的確な意思決定や災害応急対策の実施が難しくなっているのが現状である。そのため、事業所や大学機関等の専門機関の研修者、学識経験者等に機能別団員になってもらうことにより、防災対策に関する助言（アドバイス）等を専門家から受け、迅速かつ的確な意思決定や災害応急対策が実施できる関係を構築する。

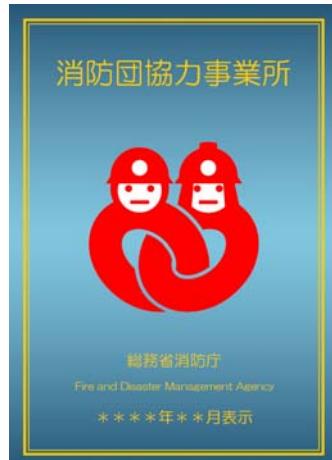
- (4) 消防団活動への協力が社会責任及び社会貢献として捉えられる環境づくり
～ 消防団協力事業所について ～
事業所が消防団活動に協力することが「地域防災活動」につながり、社会責任及び社会貢献として認められ、なおかつ、事業所の信頼性の向上につながる環境を整備する。
そこで、平成18年度の「消防団協力事業所表示制度に関する検討会」において、制度の具体的な運用方法等を検討し、その結果を踏まえて、平成18年11月29日付け消防災第427号により、各都道府県知事及び各指定都市市長あてに、『「消防団協力事業所表示制度」の実施について』を通知した。



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク

表示マークのコンセプト

事業所の消防団への協力を消防団員と事業所の従業員をイメージした輪の連結で力強く表現し、また、ハート型は地域を思う心をあわせて表現しています。

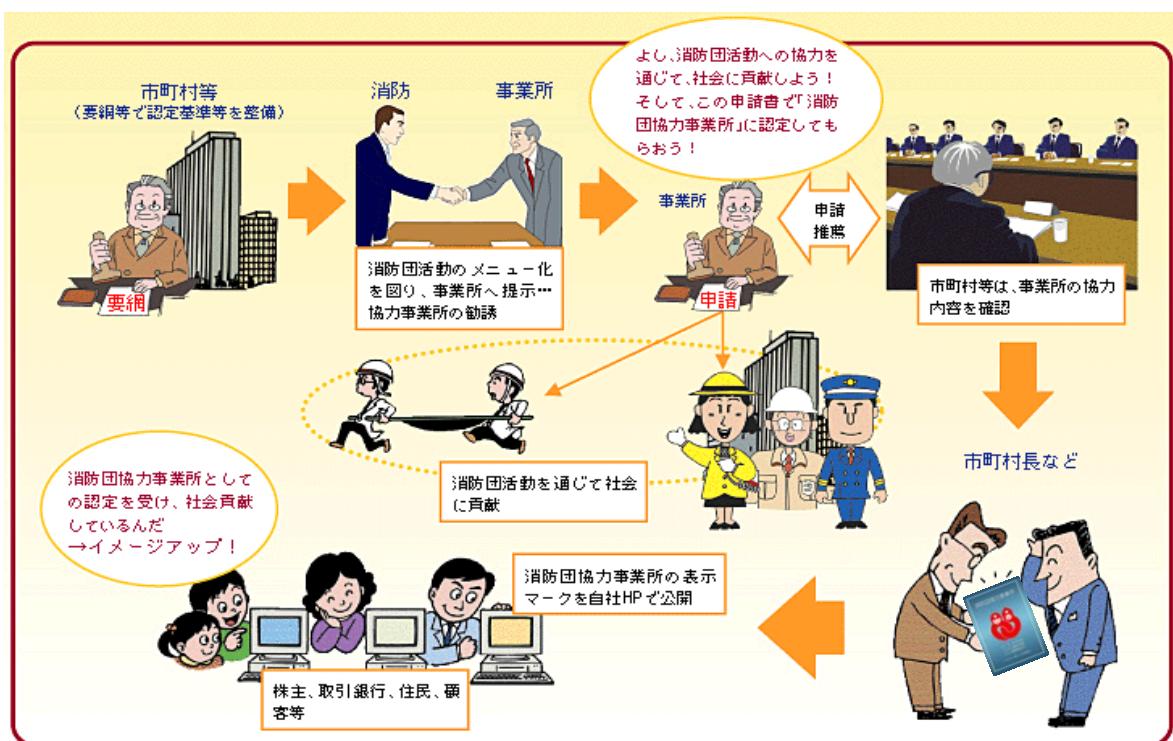


総務省消防庁が交付する表示証
(ゴールドプレート)



市町村等が交付する表示証
(シルバープレート)

消防団協力事業所表示制度イメージ図



運用開始

- (1) 総務省消防庁 平成19年1月1日から
- (2) 市町村等 市町村等が定める日から

3 消防団への参加促進・活性化対策

消防庁が実施している消防団への参加促進、活性化策については次のとおり。

① 消防団活動のPR

啓発ポスター・パンフレット・消防団PRビデオ（DVD）の作成・配布、PRパネル貸与、ホームページの運用、インターネットバナー広告、雑誌等を活用した広報、テレビ番組の放映



消防団員募集ポスター

消防団員募集リーフレット

消防団のホームページ

雑誌を活用した広報



掲載雑誌

Men's non no

日経エンターテイメント

Smart

掲載雑誌

日経WOMAN

mini

InRed

② 消防団活動表彰（消防庁長官表彰）の実施

- ア 地域に密着した模範となる活動を行っている消防団（13年度～）
- イ 団員である住民を雇用し、消防団活動を支援する事業所
- ウ 団員の確保について特に力を入れている消防団又は地方公共団体（16年度）
- エ 大規模災害時等において顕著な活動を行った消防団（特に功績のあった消防団について消防庁長官表彰、その他の消防団については消防庁長官褒状を授与。・・・16年度～）

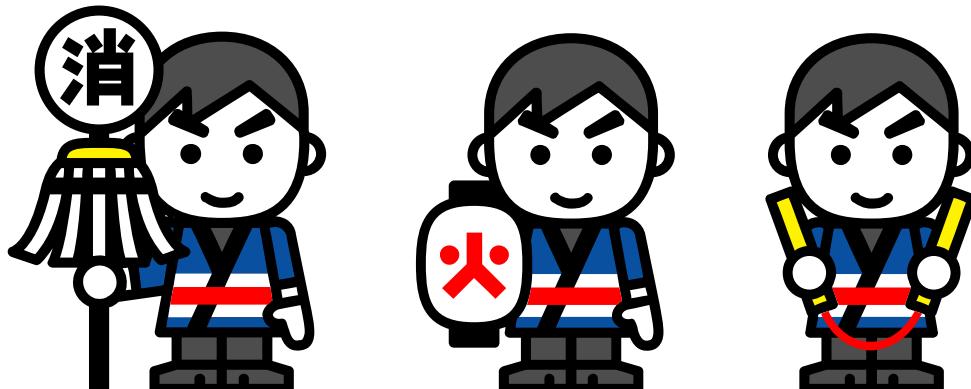
③ 模範となる活動事例を全国に紹介し、若手・中堅団員や女性団員の士気高揚を図るための「全国消防団員意見発表会」の実施（14年度～）

④ 入団推奨に係る地方公共団体等への主な通知

- ア 市町村・都道府県職員（14年11月）
- イ 女性、農協職員（16年2月）
- ウ 日本郵政公社職員（16年3月）
- エ 大学生等（18年1月）
- オ 地方公務員、公立学校教職員（19年1月）

⑤ 団員確保に係る地方公共団体への直接の働きかけ

- ⑥ 市町村合併に伴う消防団の取扱いに関する地方公共団体への通知
地域の消防・防災力を向上させるため、団員数の確保と団員の士気を高揚できる処遇について、十分な検討・考慮等を行うこと。（15年10月）
- ⑦ 消防団メールマガジンの発行（14年度～）
- ⑧ インターネットによる防災教育（eーカレッジ）の検討・実施（16年2月～）
- ⑨ 消防団員確保アドバイザー派遣制度（平成19年3月～）
消防団確保に必要な知識や実績を有する消防職団員等を、消防団員確保アドバイザーとして地方公共団体等に派遣し、地域の実情にあった団員確保策について、きめ細かく具体的に助言や情報提供等を行うことで、消防団員を確保し、地域の安心・安全を推進することを目的としている。
- ⑩ 消防団員入団促進キャンペーン（平成18年1月～）
退団者が多くなる年度末の時期において、新たな消防団員を確保するために、1月から3月の期間を「消防団員入団促進キャンペーン」として位置づけ、各地でイベント等を開催し、一層の入団促進を図っている。
- ⑪ 全国消防イメージキャラクター（平成20年1月～）
自治体消防60周年を記念して、全国消防イメージキャラクターを決定。
愛称は、1万件を超える応募の中から選ばれ、『消太』と名付けられた。

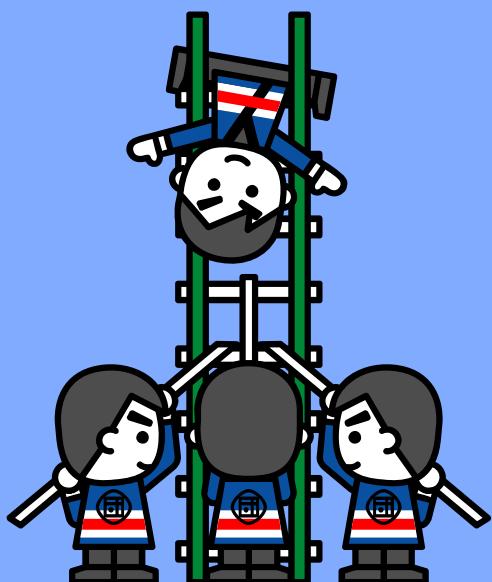


「消太」消防団バージョン（3月7日が誕生日）

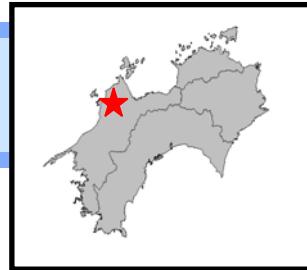
また、日本消防協会においては、消防団員確保対策について、消防団の重要性の一層の明確化、国民の評価をさらに高める消防団活動の充実、消防団の活動環境の改善等、総合的に検討して考え方をまとめ、必要な対策を進めていくよう努力している。

第Ⅱ章

消防団活動事例



まつやま だん団プロジェクト



消防団概要

- ①都道府県名 愛媛県
②消防団名 松山市消防団
③実員数 2,384名 [うち女性団員172名]
④消防団事務局 松山市消防局 総務課 消防団担当
TEL 電話番号 089-926-9229
⑤HPアドレス <http://www.matsu-syokyou119.gr.jp/>

活動内容

松山市消防団は、平成17年4月から全国に先駆け機能別消防団員である郵政消防団員を採用し、その後も平成18年の大学生消防団員、同年12月の事業所消防団員と、積極的な消防団員確保策を進めてきました。

東日本大震災を受けて、大規模災害時の対応に欠かすことのできない消防団員を一層確保する必要があるとの考え方から、これまでの直接的な募集活動に加えて、消防団員となることのメリットを感じていただける仕組みを整えることで将来の団員確保につなげようとの思いから、平成24年4月に「まつやま だん団プロジェクト」と題した消防団員応援事業をスタートさせました。



この事業は、日夜献身的に地域のため活動する消防団員を、社会全体で応援しようというというもので、新たに作成したIC機能付きの消防団員証を市内の応援事業所で掲示することで、消防団はもとより、日頃より消防団員活動に対して理解いただいているご家族などの同伴者も含めて割引等の優遇措置を受けることができるもので、現在の応援事業所数は、飲食店を中心に70店舗と増加しています。

活動内容

また、消防団員が市内の電車やバス、フェリーを利用する際にIC機能付き団員証を掲示すると、運賃も割引されます。

更に、この事業に賛同していただいた「近畿中四国ペプシコーラ販売株」のご協力により、消防団員証を掲示することで訓練や会議などで使う清涼飲料水を特別価格で提供していただけるとともに、消防団員募集とPRを行うためのラッピングを施した「松山市消防団員応援自販機」を設置し、売り上げの一部を消防団員の活動費として寄付していただけるなど、新たな展開も見せてています。

今後も更なる消防団員の確保に向け、知恵と工夫を凝らした取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。



特記事項

「まつやま だん団プロジェクト」で作成したIC消防団員証は本人の写真を載せており、団員からは「消防団員証を子供に見せたら、お父さんカッコイーと言われた。消防団員になってよかった」との意見もあり、全体的には消防団員としての士気が高まったとの声が聴かれます。

また、消防団員が応援事業所を多く利用することで、少なからずまちの活性化にもつながるのではないかと思います。

サラリーマン化の進む中で、従来からの地縁や血縁での団員確保は難しく、消防団員の社会的な認知度を高めることが、将来的な団員確保につながると考えます。

この事業の結果、平成24年スタート時には実員が2,345名でしたが、平成25年1月1日では、過去最高の2,384名まで増員することができました。

事項



「まつやま・だん団カード」
全国初！！IC機能付の
消防団員証です。

消防団支援優遇制度



消防団概要

- ①都道府県名 鹿児島県
②消防団名 薩摩川内市消防団
③実員数 1,287名 [うち女性団員58名]
④消防団事務局 薩摩川内市消防局
TEL 0996-22-0119
⑤HPアドレス f-shobodan@city.satsumasendai.lg.jp

活動内容

消防団は火災をはじめ、様々な災害に対応する組織ですが、団員は普段、自分の仕事を持しながら、いざ、災害という時に出場し活動します。

戦後、全国で200万人以上いた団員も、現在では90万人を下回り、団員の減少が国の防災力の低下にもつながることから、消防団員の拡充について声を大にして呼びかけていますが、団員数はなかなか増加しません。



内容

消防団員の増員対策の一つとして、平成12年度から始まった「消防団支援優遇制度」があります。これは、宿泊施設やレンタカー等の利用に際して、消防団員であることを証明し、割引を受けるという制度です。

薩摩川内市消防団では、消防団員の福利厚生の推進と士気高揚、消防団員の確保を図る意味から、団員が「消防団サポート制度」登録事業所を利用の際、団員という身分を証明することにより本人及び家族が料金の割引サービス等を受けられる制度を平成21年4月から開始して13名の入団があり、現在も団員数は増え続けています。今後も、消防団員サポート制度登録事業所に協力をさせていただき、消防団活動を物心両面で支援していきたいと思います。

消防力モーン～加茂地域消防団応援サービス～



消防 団 概 要

- ①都道府県名 岐阜県
 ②消防団名 加茂地域
 ③事務局 中濃振興局振興課
 ④HPアドレス <http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei-unei/shinkokyoku/chuno/syoubou-kamon.html>

1 活動内容

加茂地域（美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町）では、消防団とその活動を陰で支える家族を地域をあげて応援し、地域住民としての消防団員の消費拡大による域内経済の活性化を目的として、平成23年12月1日より、消防団応援事業所制度をスタートした。

活 動 内 容



加盟店ステッカー



団員用シール

団員とその家族1名に、団員（家族）であることを証明するためステッカーを配布。退職した団員（家族）も使用できる。ステッカーは普段持ち歩く携帯電話等に貼ることができるようなサイズとし、利用者の利便性に配慮した。

参加店舗は、店頭などにステッカーを掲示することで、地域貢献など企業イメージのアップにつながるほか、地域をあげて消防団を応援する気運の醸成にもつながっている。



消防
団
概
要

消防団員確保の取り組み



- ①都道府県名 愛知県
 ②消防団名 瀬戸市消防団
 ③実員数 253名〔うち女性団員15名〕
 ④消防団事務局 瀬戸市消防本部消防課 庶務担当
 TEL 電話番号 0561-85-0438
 ⑤HPアドレス <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/syoubou-kyuukyuu/>
 ⑥メールアドレス shobohonbu@city.seto.lg.jp

活動内容

1 主な取組みについて

○ 災害支援団員制度（平成18年2月発足）

本市消防団災害支援団員の活動内容は、平日の昼間帯に不足する消防力を補完するため、5年以上の消防経験を有する消防団員OBの方を再任命し、元消防団員として培った知識、技術を活かして即戦力として主に平日の昼間帯の火災活動に従事しています。

○ 消防団PR活動

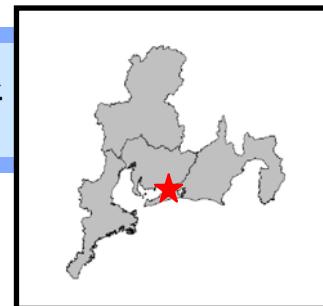
市内全戸配布広報誌へ年2回の消防団員募集記事投稿や、ポケットティッシュ、チラシを本市独自に作成し、消防団が出席する行事（観閲式、各種防災訓練、出初式、各地域の運動会やお祭り）はもとより、成人式にあっては、全成人へ配布しています。

○ ガンバレ消防団応援事業所（平成22年10月運用開始）

市内事業所に「ガンバレ消防団応援事業所」として登録して頂き、割引サービス、団員募集ポスター掲示等様々な形で消防団を応援してもらうことで、消防団員の確保と地域の活性化(地域の向上)を図ることを目的とした事業です。



ええじゃないか消防団・消防団応援事業所



消防 団 概 要

- ①都道府県名 愛知県
 ②消防団名 豊橋市消防団
 ③実員数 1,231名 [うち女性団員9名]
 ④消防団事務局 豊橋市消防本部 総務課
 TEL 電話番号 0532-51-3111
 ⑤HPアドレス shobo-somu@city.toyohashi.lg.jp

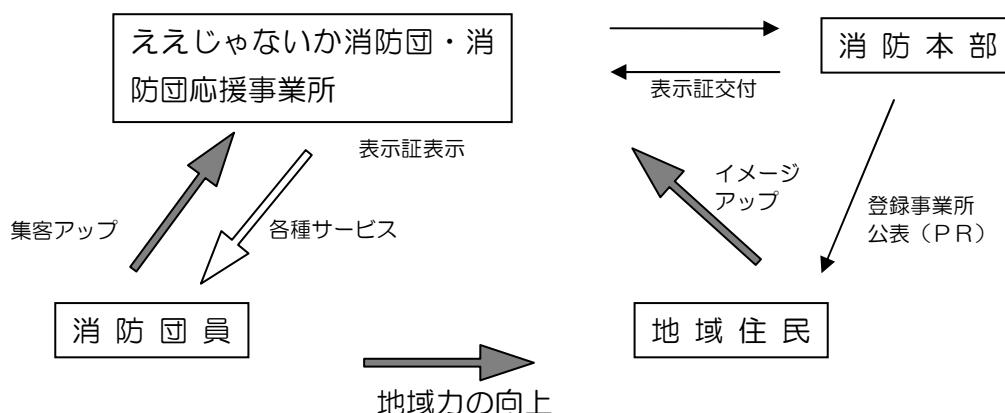
1 活動内容

消防団員確保のために、福利厚生の充実など処遇改善などの事業として、「豊橋市消防団応援事業における公共施設使用料等の減免補助要綱」を制定し市内8施設の減免及び補助を行う事業と、ええじゃないか消防団・消防団応援事業所設置要綱の制定を行い豊橋市内の民間企業に対し幅広く呼びかけ、サービス等の提供を受ける事業を実施している。

また、入団促進広報活動として、豊橋まつりにおけるパレードへの参加、消防団イメージキャラクター「ワット君」を活用した広報を行っている。

活 動 内 容

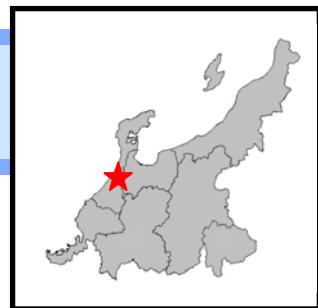
『ええじゃないか消防団・消防団応援事業所』 を募集します！



安心・安全サポート事業

消防団概要

- ①都道府県名 石川県
- ②消防団名 内灘町消防団
- ③実員数 88名〔うち女性団員0名〕
- ④消防団事務局 内灘町消防本部 庶務課内
TEL 電話番号 076-286-3301
- ⑤HPアドレス shobo@town.uchinada.lg.jp



活動内容

1 活動内容

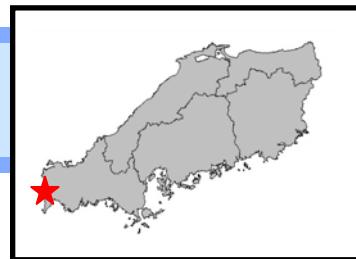
消防団員の全国的な減少が続くなかで、我が内灘町では平成23年6月より町商工会と連携し、「安心・安全サポート事業」をスタートさせました。これは我々消防団員や町の防犯と交通安全推進隊員がサポート事業登録店で買物をすると、各店独自のサービスが受けられるというものです。

団員や推進隊員を優遇することにより活動への感謝を示すとともに、団員の確保に協力していただくものです。この制度により町商工会と連携した、消防団員の確保に繋がっています。



安心・安全サポート事業交付式

自動販売機を活用した消防団員募集



消防団概要

- ①都道府県名 山口県
 ②消防団名 下関市消防団
 ③実員数 1,960名 [うち女性団員55名]
 ④消防団事務局 下関市消防局 警防課
 TEL 電話番号 083-233-9112
 ⑤HPアドレス <http://www.svfc.jp>

活動内容

下関市消防局では、平成23年7月から地元消防団のPR活動「モセキ（下関の若者用語）消防団PRキャンペーン」を官民一体となって実施していますが、このキャンペーンに呼応しコカ・コーラウエスト㈱ベンディング下関支店から、自動販売機を活用した消防団のPR及び消防団員募集広告の設置提案があり、平成24年3月23日に第1号機の設置を皮切りに現在10台（12月1日現在）を設置しています。

この自動販売機は、災害時の消防団員の飲料水の確保対策以外にも、下関市消防団のPR媒体として、広く市民の消防団に対する認知度の拡大と防災意識の向上に寄与するものです。

また、下関市消防団の団員確保や消防団活動等運営資金の支援のため、売上金の一部を市に寄附していただくことになっており、今後も消防団機庫や公共施設に設置を拡大していく予定です。



特記事項

「モセキ消防団PRキャンペーン」は、国の緊急雇用の予算で民間に業務委託し実施しているもので、キャンペーン隊の雇用の創出と、消防団のPRが1つになった事業です。

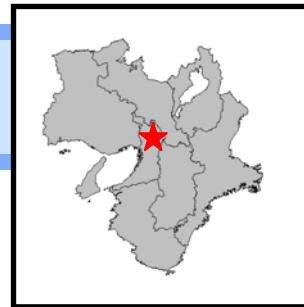
このキャンペーンの直接的な効果と、キャンペーンに触発された団員の皆さんのが勧誘活動に積極的に取り組んでいただいた結果、昨年度1年間（平成23年度）の入団者は、例年の70人前後に対し、128人と1.8倍にも達しました。



消防力の確保対策

消防団概要

- ①都道府県名 大阪府
- ②消防団名 摂津市消防団
- ③実員数 390名〔うち女性団員0名〕
- ④消防団事務局 摂津市消防本部 総務課
TEL 電話番号 06-6381-1171
- ⑤HPアドレス shoubou-soumu@city.settsu.osaka.jp



活動内容

摂津市では、大災害が発生し消防力の確保が困難な場合を想定して、平成22年1月、市内事業所の自衛消防隊（3事業所3隊）を機能別消防分団として活用しようと総勢42名（条例定数50名）で発足しました。消防車両等の資機材については、自衛消防隊の装備を活用し、当該事業所に勤務時間中の火災出動を原則として消防本部から出動要請のあるもののみと定めています。

また、摂津市消防団協力事業所表示制度実施要綱を定め、「摂津市消防団協力事業所表示証」を交付し、事業所としての防災の取組みが幅広く地域に認められています。

発足当初、事業所の自衛消防隊を「機能別消防分団」として運用する制度を発足したのは、本市が全国初であったことから、報道機関からも大きく注目され、市民の安全・安心のまちづくりに大きな前進を果たしたことにより、大きな評価を得ることができました。

現在、機能別消防分団は車両・人員が一体化で運用するのが基本理念ですが、今後の機能別消防分団のあり方については、大災害が発生し救出活動等が必要な場合、事業所が保有するクレーン車やショベルカー等を提供できるような支援活動、人員派遣（ボランティア）のみを行う支援活動など、各事業所の特有性を活用した機能別消防分団で参加していただけるか検討中です。

宮前消防団の団員募集活動



消防団概要

- ①都道府県名 神奈川県
- ②消防団名 川崎市宮前消防団
- ③実員数 112名〔うち女性団員8名〕
- ④消防団事務局 川崎市消防局 宮前消防署 消防団担当
TEL 電話番号 044-852-0119
- ⑤HPアドレス なし

消防団員確保対策の活動内容

(1) 地域最大の祭りにおける消防団員募集活動

川崎市宮前区において開催した「宮前区民祭（来場者数22万人）」で、消防団員募集コーナーの開設、消防団員のパレードの実施、消防団員募集用チラシ・花・消防グッツの配布を行いました。

※配布した花は、団員の家業が農業で丹精込めて育てた花です。



PRコーナー



チラシ・花の配布

活動内容

(2) 駅における広報活動

宮前消防団管内の田園都市線3駅（鷺沼駅・宮前平駅・宮崎台駅）に依頼し、駅改札口及びホームの発車時刻案内板に消防団員募集のテロップを流しています。



活動内容

特記事項

(3) 消防団活動における雑誌の掲載

時刻表を発行しているJR系の出版社「交通新聞社」からの依頼で、宮前消防団が雑誌「散歩の達人」に掲載されました。操法大会で活躍している女性団員の山影分団が紹介されています。



区民祭で団員募集用に配布しているチラシには、現役Jリーグ選手を起用しています。



あなたの力が郷土を救う！



消防団概要

- ①都道府県名 長崎県
 ②消防団名 佐世保市消防団
 ③実員数 1,780名 [うち女性団員27名]
 ④消防団事務局 佐世保市消防局 総務課 消防団係
 TEL 0956-23-9253
 ⑤HPアドレス syoubou@city.sasebo.lg.jp

1 活動内容

佐世保市消防団では、「あなたの力が郷土を救う」をスローガンに、消防団入団促進横断幕の掲示や、消防車両へのマグネット貼付、市役所、消防局、各支所窓口業務で、市民に手渡す書類を消防団員入団促進広報用クリアファイルに入れて配布を行うなどの入団促進を行っています。



活動

内容



車両への貼付状況



マグネットシート

クリアファイル

市民を守る魅力ある消防団づくり



消防団概要

- ①都道府県名 秋田県
- ②消防団名 鹿角市消防団
- ③実員数 844名〔うち女性団員23名〕
- ④消防団事務局 鹿角広域行政組合消防本部 警防予防課
TEL 電話番号 0186-23-5601
- ⑤HPアドレス www.fdkazuno.jp

1 活動内容

近年の消防団減少に伴い、「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画を作成し、平成19年4月から女性消防団員の採用や機能別消防団員制度の導入を行っている。

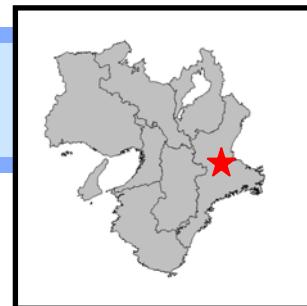
また、危険物取扱者や防火管理者などの消防団員の資格取得に係る支援体制として、危険物取扱者試験前に、団員を対象とした講習を実施している。

管轄する鹿角市は広大な面積を有しており、消防署所から遠距離で発生した救急及び救助を必要とする交通事故、自然災害に対応するため、南北を管轄する2つの分団が平成21年11月から、秋田県では初となる救急救助支援隊として発足、消防本部と消防団が一体となって救急救助活動をするため、事故車両移動などの総合訓練を合同で実施しています。

活動内容



バスマスクによる消防団員募集



消防団概要

- ①都道府県名 三重県
- ②消防団名 三重県消防協会
- ③県内実員数 13,619名 [うち女性団員366名]
- ④消防協会 TEL 電話番号 059-224-2108
- ⑤HPアドレス <http://www.mie-syoubou.jp>

活動内容

1 活動内容

バスマスク

三重県内の58台のバスが「消防団員募集」のバスマスクをフロントにつけ走行しました。

(平成25年2月1日より1カ月)

公用車にマグネット

県公用車及び市町公用車に「消防団員募集」のマグネットをはりPRをしています。

ポスター

近鉄の主要18駅に消防団員募集のポスターを掲示。

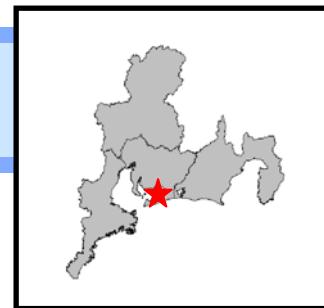
(平成25年2月1日より4週間)

内容



もっと知ろうよあいちの消防団

～消防団活動発信事業～



消防団概要

- ①都道府県名 愛知県
- ②県内消防団数 341団
- ③実団員数 23,608名 [うち女性団員531名]
- ④事務局 愛知県防災局消防保安課
TEL 電話番号 052-954-6195
- ⑤HPアドレス <http://www.pref.aichi.jp/bousai/>

事業名 消防団活動発信事業

【事業目的】

平成23年度、愛知県が実施した「消防団理解度・認知度調査」では、消防団の活動内容を知らないと答えた人が50%を超え、消防団活動自体が広く認知されていない状況である事がわかりました。

そこで愛知県では、県内の6つの消防団に3名の消防団PR団員を派遣し、消防団活動の体験をブログなどで発信することにより、消防団の魅力や重要性などをアピールし、消防団に対する理解の促進と団員確保を図りました。

【活動期間】

平成24年7月～25年2月

【消防団PR団員】



消防クリエーター



消防団王子



消防団アイドル

【活動内容】

- ・ 消防団業務・防災関係イベントの体験取材
- ・ 消防団員への取材を通したブログの作成
- ・ 消防団をPRするための成果物の作成

消防クリエーター 消防団PR動画

消防団王子 あいち消防団しんぶん

消防団アイドル 消防団応援ソング「消防団ヒーロー」

消防団員確保対策



消防団概要

- ①都道府県名 青森県
 ②消防団名 弘前市消防団
 ③実員数 1,991名 [うち女性団員20名]
 ④消防団事務局 弘前市消防本部 警防課内
 Tel 電話番号 0172-32-5103
 ⑤HPアドレス
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/shobo/link/index.html>

活動内容

消防団では、主に定員を満たしていない分団を中心に、年2回から3回程度、町会の回覧に消防団員募集を掲載したチラシを添付してもらい、消防団員の確保に努めている。

また、消防本部においては、年2回の火災予防週間時に新聞広告を掲載するとともに、消防団員募集についても載せている。

さらに、毎年、消防団員の活性化事業を実施（平成24年度はソフトボール大会）し、特に若い消防団員間の親睦を図ることで新たな消防団員の確保に努めている。



消防団概要

消防団員入団促進パンフレット作成



- ①都道府県名 福島県
 ②協会名 公益財団法人 福島県消防協会
 ③実団員数 34,852名 [うち女性団員178名]
 ④事務局 福島県福島市中町5番21号
 TEL 電話番号 024-522-5974
 ⑤HPアドレス なし

1 消防団員確保対策の活動

福島県消防協会では、消防団への入団を一層促進するため、消防庁が1月～3月に行っている「消防団員入団促進キャンペーン」に合わせ、企業訪問時や各家庭等に配布するパンフレットを平成23年度より作成し、各支部に配布した。（23年度4万部、24年度6万部）

パンフレット作成にあたっては、各地域の若手または女性消防団員を推薦していただき、記事（入団の動機、活動内容、団活動への熱い思い、入団して良かったこと、さらに東日本大震災での活動など）顔写真、活動写真の提供を受けた。

活動内容

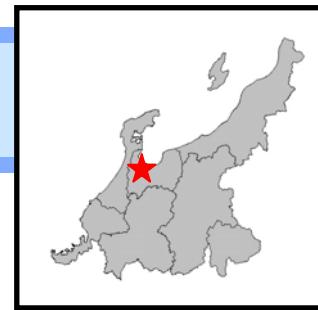


東日本大震災を経験して、地域住民は消防団の活動を身近に感じ、地域の絆をより強く認識されたことと思う。そこで、消防団員の若いパワー、女性消防団員の活躍を企業、地域住民に広報することにより、なお一層の消防団への理解と入団促進を勧めて行きたい。

消防団員確保の広報誌作成

消防団概要

- ①都道府県名 富山県
 ②消防団名 研波市消防団 太田分団
 ③実員数 583名〔うち女性団員47名〕〔太田分団29名〕
 ④消防団事務局 研波地域消防組合研波消防署総務係
 TEL 電話番号 0763-33-0119
 ⑤HPアドレス なし



1 活動内容

消防団員確保のため、勧誘活動を積極的におこなっています。若年層や新しい住民層の団員確保に努めていますが、実際に地域を回り勧誘活動を行っていると、消防団員はどのような活動をしているのか、また月2回の定例日の地域巡回以外の活動が知られていないことを痛感することが多々ありました。

消防団員の確保にはまず、太田分団の活動への理解を深めていただく必要性を感じたため、活動を記載した広報誌を作成し、年3回地区内全戸配布を実施しています。

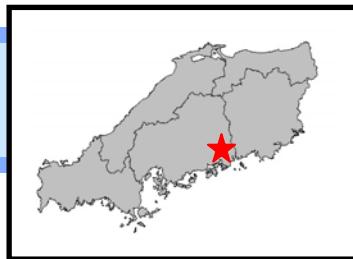
分団員の紹介を続けていることにより、どこの区の誰が消防団員であるかなど、顔の見える関係ができたように感じます。このおかげで、住民に警戒されがちであった各戸訪問による住宅防火診断などがスムーズに行えるようになりました。

また、東日本大震災により「防災意識」を持つ住民が増えてきているので、我々から分団の活動だけを発信するのではなく、地域住民が必要としている情報をさらに盛り込んでこれからも発行を続けたいと思っています

内 容



消防団員募集の「のぼり」を製作



消防 団 概 要

- ①都道府県名 広島県
②消防団名 福山市消防団
③実員数 2,847名 [うち女性団員30名]
④消防団事務局 福山地区消防組合 消防局 警防課
TEL 電話番号 084-928-1193
⑤HPアドレス shoubou-keibou@city.fukuyama.hiroshima.jp

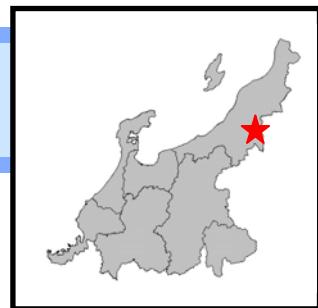
活 動 内 容



消防戦隊ウオヌマン

消防団概要

- ①都道府県名 新潟県
- ②消防団名 魚沼市消防団
- ③実員数 993名〔うち女性団員19名〕
- ④消防団事務局 魚沼市消防本部 消防総務課 消防係
TEL 電話番号 025-793-0119
- ⑤HPアドレス <http://www.02579.jp/shoubou/>



活動内容

魚沼市消防団は、毎年、魚沼市の成人式に参加し、消防団や消防活動の必要性等の広報活動を行っています。今年は、結成されたばかりの「消防戦隊ウオヌマン」に、成人式をむかえる女性消防団員がメンバーにいたことから、消防戦隊ウオヌマンによる劇を披露した。

また、成人式終了後には、消防団員募集のチラシと、花の種を出席者に配布し消防団員募集活動を行った。

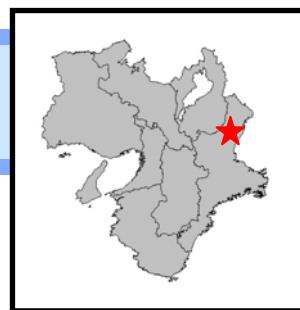
消防戦隊ウオヌマンの結成により、消防団の堅いイメージがやわらかくなり、子供たちからお年よりまで親しみやすくなってきてている。成人式等で団員確保の活動をすることができ、これからの中未来を担う若者達に消防団をアピールできる事は、大変意義のあることだと思います。



消防団通信

消防団概要

- ①都道府県名 三重県
②消防団名 四日市市消防団
③実員数 595名〔うち女性団員33名〕
④消防団事務局 四日市市消防本部消防救急課地域安全係
TEL 電話番号 059-356-2005
⑤H Pアドレス
http://www.city.yokkaichi.mie.jp/syoubou/ff_group/index.html
<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu68313.html>



活動内容

四日市市消防団では、市のホームページを活用し、「消防団通信」というサイトを運営、タイムリーな情報発信を行っている。

手軽に更新が可能だから、消防団の日々の活動をより速く、ネット上に公開する。さらに市役所サイトのトップページの新着情報に更新履歴を掲示することにより、たえず更新されている新鮮なサイトであることをアピール。消防団関係者以外をサイトへ誘導し消防団活動への理解を深め、協力、参加を促進している。

特記事項

各分団、各署へ呼びかけ、情報を収集し掲載していることから、高い更新頻度が保たれている。

この情報発信は、消防団員のやりがいの醸成の一助となり、活動へのモチベーション向上にもつながっている。

さらに他の分団がどんな活動を行っているのかを知ることで、分団の活動の活性化にも繋がっている。

市役所のトップページから閲覧できることで、各地区市民センターなど地域に密着した活動を行う市出先機関担当者からも、消防団の活動がよくわかると高い評価を得ている。

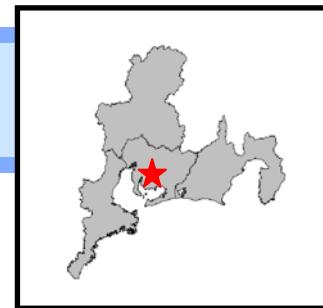
また、FacebookなどのSNSを用いて、独自の広報を展開している分団もあり、このサイトをリンクさせることで、特に若年層を対象として、さらに消防団広報の輪を広げている。



新入団員対象者説明会

消防団概要

- ①都道府県名 愛知県
- ②消防団名 安城市消防団
- ③実員数 404名〔うち女性団員0名〕
- ④消防団事務局 安城市市民生活部防災危機管理課
TEL 電話番号 0566-71-2220
- ⑤HPアドレス <http://helpdesk.thick.jp/afv/>



活動内容

1 活動内容

分団及び町内会が主催で市役所担当者と消防署消防団係が同席し、町内の新入団員対象者を集めて説明会を実施しました。

内容は、職員が消防団の概要、1年の活動内容及び福利厚生の説明を行い、分団長が分団独自の活動内容を紹介します。

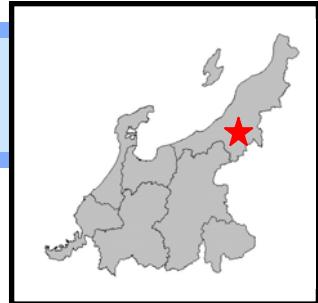


平成23年度に2件、平成24年度に2件の説明会を行い、消防団活動に興味をもっていただくことができ、入団希望者もありました。入団しない方に対しても消防団活動の理解を得ることができ、消防団員の福利厚生等細かい部分も説明することで、消防団員の身分がしっかりしたものであるという信頼を得ることができました。

当事例のように、行政、消防団、町内会が協力して積極的な確保対策に取り組むことにより、消防団の必要性が理解され、新入団員の確保につながっていくものと考えます。

消防団概要

未来の防災リーダー育成講座



- ①都道府県名 新潟県
②消防団名 長岡市消防団
③実員数 4,252名 [うち女性団員30名]
④消防団事務局 長岡市消防本部 総務課
TEL 電話番号 0258-35-2192
⑤HPアドレス <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/syoubou/>

活動内容

長岡市では少年期からの防災教育の重要性に着目し、中高生から地域の防災に興味を持ってもらい、防災教育に触れることで、将来的な地域防災力の向上や消防団への加入促進に繋げる事業「未来の防災リーダー育成講座」を行っています。

平成24年度で3回目となるこの事業では、夏休み期間中の市内の中学生（定員36名）及び高校生（定員20名）を募集して、それぞれ2日間の防災教育を行うものです。

この講座では講師として、地域防災で活躍している消防団や防災活動団体である中越市民防災安全士会及び中越防災安全推進機構の方々を招き、活動内容を受講生に紹介、土のう作りや消防車での放水などの体験を行っています。

この講座を通じ、消防団や地域防災において活躍している方々を身近に感じてもらい、地域防災に興味を持つてもらうと同時に、大規模災害時には、自分の身は自分で守り、助けを必要としている地域の方には、率先して手を差し伸べができる勇気を養っています。現在のところ、講座の受講生からは入団者はいませんが、少年期から防災教育に触れることで、将来的には地域防災の担い手となっていただけることを期待しています。



消火器取扱い



土のう作り

中学生に対する「防災スクール」



消防団概要

- ①都道府県名 神奈川県
 ②消防団名 横浜市神奈川消防団
 ③実員数 401名〔うち女性団員63名〕
 ④消防団事務局 横浜市消防局 神奈川消防署
 TEL 電話番号 045-316-0119
 ⑤HPアドレス
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/shouboudan/05-02.html>

活動内容

1 活動内容

中学生に対する「防災スクール」消防団が実施する防災指導の体験を平成18年度から始め、7年目を迎えました。

(1) 目的

消防団員が不足している中、消防団員募集活動の一環として、神奈川区の公立中学校に呼びかけ、中学生が消防団の実施する防災指導を体験します。

これにより、中学生に防火・防災の知識習得と同時に、地域防災に付与する消防団活動を直に見つめる機会を作り、将来の消防団員への入団促進へ繋げるものです。

(2) 経緯

神奈川消防団は、団員募集活動を地域行事でのチラシ配りやブースの設置。自治会・町内会の掲示板へのポスター掲出等の従来のPR活動を行って参りましたが、効果があまりありませんでした。

そこで、短期的な募集活動だけではなく、中・長期的な募集活動の一環としても取り組む必要があり、消防団員を育成するという主眼から「防災スクール」が始まりました。

(3) 内容

中学生に対する「防災スクール」
 (消防団が実施する防災指導体験)

- ① 1年生・・・三角巾、ロープ取扱い
- ② 2年生・・・搬送法、携帯発電投光機取扱い
- ③ 3年生・・・心肺蘇生、AED取扱い

特記事項



三角巾・ロープ取扱い（1年生）



搬送法・投光機取扱い（2年生）



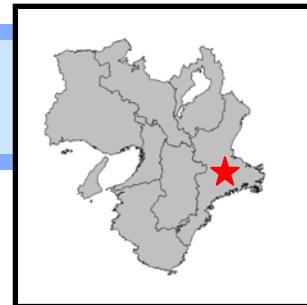
心肺蘇生法・AED取扱い（3年生）

消防団員が講師となり、中学生を指導することにより指導者の自覚と、消防団員としての責任感が確立されました。

取組みが7年及んだことで、毎年「防災スクール」を行う公立中学校では、既に主要な行事となり、長期的な消防団員募集活動だけでなく、地域の防災力向上にも大変貢献しています。

また、中学生も消防団員も地域の一員であり、顔見知りになることで地域の繋がりも強くなっています。

消防団員確保対策の成果



消防団概要

- ①都道府県名 三重県
- ②消防団名 松阪市消防団
- ③実員数 1,420名 [うち女性団員60名]
- ④消防団事務局 松阪市消防団事務局
TEL 電話番号 0598-25-1414
- ⑤HPアドレス <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

活動内容

1 消防団確保対策の成果

平成17年1月1日、1市4町の合併により旧市町村の消防団をそのままとして、5つの方面団を含めた新たな松阪市消防団が発足しました。

発足当時、条例定数1,420名に対し実員1,331名であったため、様々な取り組みを行いました。地域住民の理解を得るために、自治会等の会合へ出向き、説明を行うとともに、分団長以上の幹部が地道に自治会や個人宅への戸別訪問を行いました。また、新興住宅地、マンション密集地など、人口・世帯が増加しつつある区域には、新たに分団を設置し、団員募集、消防団活動等の広報活動も展開しました。

平成19年には総務省消防庁が推進する「消防団協力事業所表示制度」に伴い、市内主要事業所への協力依頼を行うなど、消防団員の確保と活動の充実を図ってきました。

こうした取り組みの結果、条例定数の1,420名を確保することができ、その成果等も含め平成20年3月、日本消防協会 特別表彰「まとい」を受章しました。

消防団活動の充実・団員の待遇を図るため

- 予算化による団員の健康診断
- 災害現場での事故防止のための安全管理員の設定等
- 市内の自動車学校においての緊急車両の安全運転講習
- 団員の士気向上のための操法大会の開催
- 訓練施設「消防訓練棟」での定期的な消火訓練
- 団員報酬の引き上げ
- 救助資機材搭載車両の配備

など、活動しやすい環境づくりを推進していきます。



地区体育祭で災害対応訓練実施



消防団概要

- ①都道府県名 熊本県
- ②消防団名 多良木町消防団
- ③実員数 470名〔うち女性団員15名〕
- ④消防団事務局 多良木町役場 総務課 管財・防災係
TEL 0966-42-6111
- ⑤HPアドレス <http://www.town.tairagi.lg.jp/>

1 訓練内容

平成24年9月11日に開催された熊本県地域防災計画検討委員会「第2回地震・津波被害想定検討部会」で、人吉盆地南縁断層の調査結果が報告された。想定震度はM7.1、地震発生確率は30年以内に1%以下、多良木町の想定震度は6強という結果で新聞等でも報道がなされた。

人吉盆地南縁断層のほぼ真上に位置する多良木町久米地区においては、地震発生時には特に甚大な被害が予想されることから、地区住民が多数集まる体育祭の中で負傷者搬送訓練を開催した。

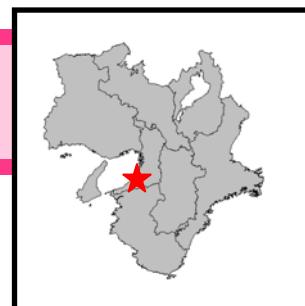
当日は、まず救急・搬送訓練等を日頃から行っている女性消防隊が地元消防団に搬送方法（1人での搬送法、2人での搬送法、簡易担架を使った搬送法）を指導し、訓練のリハーサルを行った。

その後、体育祭のプログラムの間の時間を活用し、消防団員による搬送法の模範を地区住民の前で行い、さらに地区住民も実際に訓練に参加し、簡易担架による搬送法を行った。

内容



林野火災訓練を実施



消防団概要

- ①都道府県名 大阪府
②消防団名 岸和田市消防団
③実員数 30名
④消防団事務局 岸和田市消防本部 総務課
TEL 電話番号 072-426-8603
⑤HPアドレス
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/3/20121029bunabayasi-kunren.html>

活動内容

林野火災多発期を前に、和泉葛城山の緑と自然、天然記念物のブナ林を火災から守るため、大阪市消防局航空隊協力の下、火災発生時において隣接する消防機関（岸和田市消防本部・岸和田市消防団・貝塚市消防本部・貝塚市消防団）の有機的な連携と迅速かつ的確な消火活動を実施できるよう、消防関係機関相互の連絡体制の強化並びに消防職・団員の技術の向上を図ることを目的に訓練を行った。また、これらの活動を広報紙等に掲載し、市民の防災意識の高揚に努めている。



消防団概要

大規模地震対応訓練を実施



- ①都道府県名 千葉県
②消防団名 千葉市消防団
③実員数 767名 [うち女性団員154名]
④消防団事務局 千葉市消防局総務部総務課 消防団係
TEL 電話番号 043-202-1635
⑤HPアドレス <http://www.city.chiba.jp/shobo/somu/somu/syouboudansyoukai.html>

活動内容

1 活動内容

平成24年6月30日、大規模地震発生時における消防団対応訓練を実施しました。

本訓練は6時00分、千葉県東方沖を震源とするマグニチュード7.5の大地震が発生し、千葉市域で震度6強を観測、市内では甚大な被害が発生したという想定で行いました。

訓練は、参加対象者への事前通知を実施日のみとしたブラインド型とし、当日の地震発生を知らせる一斉メールによりスタートしました。

早朝から消防団車両39台、団員121人が消防団大規模地震火災対策に基づき、それぞれの指定場所に参集し、消防団地震対策本部、同方面対策本部を設置するとともに、常備消防隊と連携して本番さながらの緊張感の中、図上訓練や管内調査等を実施しました。



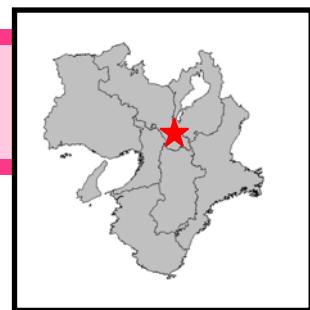
消防団地震対策本部



対策本部における会議の様子

千葉市消防団では東日本大震災発生で得た教訓を糧に、今後とも実災害を想定した訓練を毎年実施していくことで、大規模災害に対する準備態勢を確立することにより、市民の安全・安心の確保に努めていきます。

火災現場想定訓練を実施



消防団概要

- ①都道府県名 京都府
- ②消防団名 城陽市消防団
- ③実員数 275名〔うち女性団員10名〕
- ④消防団事務局 城陽市消防本部 総務課 庶務係
TEL 電話番号 0774-54-0113
- ⑤HPアドレス <http://www.city.joyo.kyoto.jp/>

活動内容

城陽市消防団は、平成24年3月4日に火災現場想定訓練を行った。この訓練は、消防団員が年間を通じて実施してきた定期訓練の集大成として、個々の知識と技術を遺憾なく発揮する訓練であり、6分団合同で実施することにより、団員個々の技術の向上、更に分団相互の連携を円滑に図ることを目的にしており、定められた形式ではなく、事前に各分団に想定付与するものでもないことから「ブラインド訓練」とした。



消防団概要

消防団マイスター制度



- ①都道府県名 愛知県
 ②消防団名 名古屋市中川区消防団連合会
 ③実員数 553名〔うち女性団員39名〕
 ④消防団事務局 名古屋市消防局中川消防署総務課
 TEL 電話番号 052-363-0119
 ⑤HPアドレス なし

1 活動内容

名古屋市中川区内の24学区(小学校区域単位)にそれぞれ1消防団を設置し、中川区内の24消防団をまとめて中川区消防団連合会を組織しています。(合計定員625名)

平成20年8月中川区消防団連合会に消防団活性化検討委員会を設置し、各消防団内に自団のみならず地域住民へ積極的に教養ができる専門団員を養成する企画で、3つの部会(ポンプ・救急・自主防災)に分かれて検討されました。その結果、平成21年度から講習会を実施しています。

平成24年11月現在で、ポンプ講習110名、救急講習93名、自主防災講習68名が認定されています。今後、大規模災害時に公設消防機関が行き届かない被災場所において、住民とともに被害を最小限に食い止めるため、地域住民への事前教養と協同を目指して地域で活動していきます。

活動内容



浦安市少年消防団 発足

消防団概要

- ①都道府県名 千葉県
- ②消防団名 浦安市消防団
- ③実員数 153名〔うち女性団員21名〕
- ④消防団事務局 浦安市消防本部 総務課
TEL 電話番号 047-304-0142
- ⑤HPアドレス <http://city.urayasu.chiba.jp/>



活動内容

1 活動内容

少年少女が防火防災に関する知識及び技術を学び、規律ある団体生活を通して、将来の地域防災の担い手として明るく元気に成長することを目的として、浦安市少年消防団を平成24年4月1日に発足しました。



浦安市少年消防団入団式

訓練の指導は消防団が担当し、少年消防団員の親も子供の活動内容から地域防災及び消防団活動に关心を持っていただけたらと期待をしています。市内、各小学校とホームページ等で募集して、小学校5年生46名に入団していただきました。少年消防団は卒業までの2年間活動してもらいます。

活動内容

名 称 浦安市少年消防団
発足年月日 平成24年4月1日
代表者 浦安市消防団長
指導者 消防団員又は消防職員
実員数 46名
活動期間 小学校5年生になる4月1日から小学校6年生を修了するまでの2年間
貸与被服 活動服・アポロキヤップ・運動靴・ヘルメット・手袋・防寒衣
補 償 行事参加者にかかる障害保険・市民総合保険
年間事業 少年消防団入団（卒団）式、基本訓練、市外研修、救命学習、啓発活動、出初式、防火防災学習



放水訓練



救急訓練



放水訓練

地域住民と共に防災活動



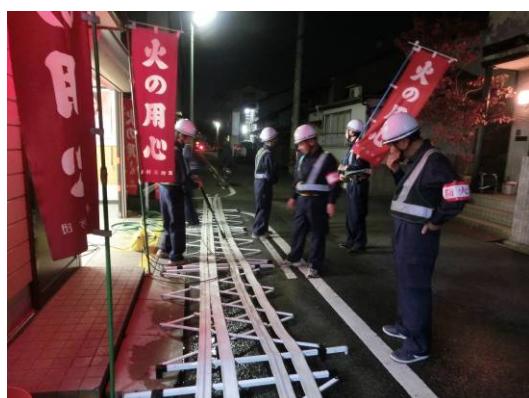
消防団概要

- ①都道府県名 愛知県
- ②消防団名 名古屋市杉村消防団
- ③実員数 25名〔うち女性団員0名〕
- ④消防団事務局 名古屋市消防局北消防署 総務課
TEL 電話番号 052-981-0119
- ⑤HPアドレス なし

活動内容

毎月19日の火災予防パトロールに始まり、毎月のポンプ操作訓練とそれに伴う点検を団員活動の基本としています。また、春、秋、年末の火災予防期間には団員総出でパトロールをして火災のないまちづくりに励んでいます。

それに加え地域から依頼を受け「安心・安全まちづくり」運動の一端を担うパトロールにも加わり、放火防止のパトロールを兼ねた学区集団回収の事前広報も行って、地域住民と共に歩む活動を続けております。これらの活動は取りも直さず予想されている東海地震に備えて、団員のみならず地域の人々にも災害に対する防災意識を高めることに貢献しているものと思います。



普通救命講習会を実施

消防団概要

- ①都道府県名 愛知県
②消防団名 名古屋市六郷北消防団
③実員数 24名〔うち女性団員2名〕
④消防団事務局 名古屋市消防局北消防署総務課
TEL 電話番号 052-981-0119
⑤HPアドレス なし



活動内容

応急手当普及員の資格を団員が取得し、現在では11名の有資格者が学区員、水泳教室開講前の小学校教職員を対象に普通救命講習を開催している。平成20年以降は消防団員のみで指導している。

平成22年9月に消防団研修旅行で京都を訪問した際、消防団員が心肺停止となつたが、通りがかった研修医、近隣百貨店店員及び六郷北消防団員によるAEDを用いた心肺蘇生により一命を取りとめ、その後も消防団員として活動をしている。改めて日頃の心肺蘇生訓練の重要性を認識させるものであった。



手作り人形劇による防火指導



消防団概要

- ①都道府県名 北海道
- ②消防団名 上川中部消防組合上川消防団
- ③実員数 69名〔うち女性団員6名〕
- ④消防団事務局 上川中部消防組合 消防団事務係
TEL 電話番号 01658-2-1040
- ⑤HPアドレス なし

活動内容

平成23年1月1日付けて5名の女性消防団員が入団し、上川町初の女性消防団が発足しました。現在では団員も6名になり、町内の幼稚園や保育所を訪問し、「火災から避難する際の大切なこと」をテーマに子供たちに手作りの人形劇を披露しています。

着ぐるみの消太くんの登場で、子供たちは目を輝かせて劇を観賞し、火災の知識をより深く印象に残すことができたと思います。



消防団概要

女性消防団員による新たな予防啓発活動



- ①都道府県名 北海道
②消防団名 北十勝消防事務組合 音更消防団
③実員数 156名〔うち女性団員13名〕
④消防団事務局 北十勝消防事務組合 音更消防署 消防課
TEL 電話番号 0155-30-3322
⑤H P アドレス なし

1 活動内容

音更消防団の女性消防団員は、現在13名で活動している。災害時には負傷者の救護や炊き出し等の後方支援を、通常時には訓練礼式や保育園を訪問し園児への火災予防啓発活動を行う。

平成23年度に女性消防団員が主体となる防火啓発活動として「消防戦隊けすんじゅ～」が誕生し、子供から大人まで楽しみながら火災予防の大切さを学べるよう寸劇を通して活動している。

町民への知名度は徐々に浸透しており、今後はショーの完成度を高め様々な行事で火災予防をPR出来るよう活動の場を広げていきたい。

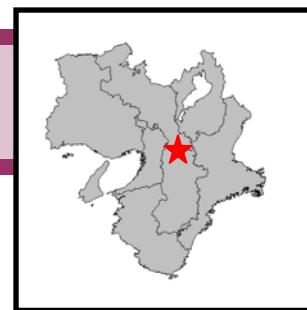
活動内容



消防団活性化事業

消防団概要

- ①都道府県名 奈良県
②消防団名 奈良市消防団
③実員数 986名〔うち女性団員39名〕
④消防団事務局 奈良市消防局 総務課 総務管理担当
TEL 電話番号 0742-35-1199
⑤HPアドレス shoubou-soumu@city.nara.lg.jp



活動内容

1 活動内容

奈良市消防団では、地域における防災活動の主体となる消防団の活性化と地域住民とのコミュニケーションの強化を促進していくため、消防分団が自主的に行う「消防団活性化事業」を募集しています。

この事業は、各分団から応募をいただいた事業の企画内容等を公益性や地域の防災に効果的な成果が期待できるなどの点から選考のうえ、当該事業に係る経費に対して支援を行います。

2 募集の対象となる事業

- 青少年への防災教育の実施・推進、地域住民を対象とした体験活動等防災教育の実践・普及に関する事業
- 民生委員等との連携による高齢者等の社会的弱者への防災安全指導に関する事業
- 事業所との相互応援活動、自主防災組織等との連携による防火防災に関する事業
- イベント等の実施による予防活動、応急手当の普及・啓発に関する事業
- 伝統行事の保存活動を通じた防火意識の啓発、地域住民の安全の維持、向上に関する事業



活動内容

3 選考方法

奈良市消防団長及び奈良市消防局長等で構成される消防団活性化事業認定審査会において書類審査を行い、消防団長が決定認定します。

4 選考基準

- 地域のコミュニティが図れるものであること。
- 公益性や地域の防災に効果的な成果が期待できること。
- 消防分団の自主的な事業であること。
- 他機関との合同事業で、消防分団が積極的に関与し、独立した事業であること。

5 認定事業に対する支援

消防団活性化事業として認定された事業に対し、事業に必要な経費の全部又は一部について経費を負担する。

支援経費の上限 消耗品費・・・・120,000円限度

備品購入費・・・40,000円限度



認定事業

- 地区防災会が実施する防災訓練で、小学生の放水体験や、救助資機材を活用しての倒壊家屋からの救出方法を住民に指導し技術の向上を図った。
- 防災上の課題及び対策等をゲーム感覚で行う災害図上訓練（D I G）を、地区的住民を集めて消防団員が指導者となり開催した。

機能別消防団「金勝山林分団」



消防団概要

- ①都道府県名 滋賀県
 ②消防団名 栗原市消防団
 ③実員数 109名〔うち女性団員15名〕〔機能別団員19名〕
 ④消防団事務局 湖南広域消防局 中消防署 庶務管理係
 TEL 電話番号 077-552-0119
 ⑤HPアドレス <http://www.konan-kouiki.jp/>

1 目的

栗東市面積の40%を占める金勝山で、近年の健康ブームに伴うハイカーの増加から遭難者の発生や林野火災が懸念される事から、普段から山林を熟知されている金勝生産森林組合役員19人を有事の際、誘導および常備消防や基本分団の後方支援を中心とした機能別消防団として発足しました。

2 活動・訓練内容

平成24年10月28日に機能別消防団発足式を行い、分団名を「金勝山林分団」に決定して分団の更なる結束を誓いました。

活動内容

平成24年11月14日に機能別消防団発足後、初の訓練である「山林踏破対応訓練」を実施、今年度も栗東市内の林道において一部が崩落し、通行止めになる被害が発生したこともあり、土砂災害により生活道路が寸断し、集落に負傷者が発生したという想定のもと、常備消防、基本分団、警察等が出動しました。機能別消防団は、適切な踏破ルートの選定および先導と危険情報の提供といった活動を行いました。

内容



機能別団員による踏破ルート先導



機能別分団発足式

女性消防団員広報部会 チャイムズ



消防団概要

- ①都道府県名 福岡県
- ②消防団名 福岡市早良消防団
- ③実員数 382名〔うち女性団員27名〕
- ④消防団事務局 福岡市消防局 早良消防署消防係
TEL 092-821-0245
- ⑤HPアドレス sawara-keibi.119@city.fukuoka.lg.jp

活動内容

女性消防団員による広報部会において、各種イベント及び活動の際、トーンチャイムという楽器を使った演奏により広報活動を実施している。

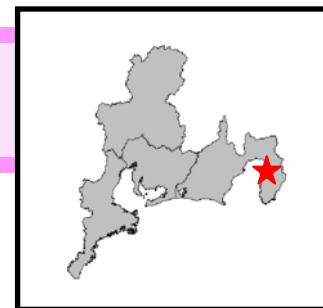
女性消防団員27名（各分団3～5名所属）で「早良消防団女性消防団員広報部会」（愛称：チャイムズ）を編成、出初式、防火訪問、地域防災訓練、救急法指導等、各種活動時にチャイムズ演奏による広報活動や広報誌を作成している。

楽器演奏訓練のため、毎月顔を合わせるようになり、団員間のコミュニケーションが図れるようになった。女性ならではの活動を通して、団員が楽しみながら地域に貢献ができる活動を広めていきたい。



女性消防団員広報部会「チャイムズ」

三島市女性消防団



消防団概要

- ①都道府県名 静岡県
②消防団名 三島市消防団
③実員数 456名〔うち女性団員16名〕
④消防団事務局 三島市消防本部警防救助急課 消防団係
TEL 電話番号 055-972-5803
⑤HPアドレス kyuukyuu@city.mishima.shizuoka.jp

1 活動内容

三島市女性消防団は、平成19年4月に発足、現在16名の女性団員が救命講習、街頭広報や年1回の市内防火パレード、消防団広報誌の発行等の啓発活動を行っている。

また、市、地域住民、関係機関との水防訓練や三島市消防団操法大会にも参加している。

活動内容



消防団概要

防災ソングを作詞作曲



- ①都道府県名 三重県
②消防団名 伊勢市消防団
③実員数 529名〔うち女性団員10名〕
④消防団事務局 伊勢市消防本部 消防課 企画消防団係
TEL 電話番号 0596-25-1216
⑤HPアドレス syo-syoubou@city.ise.mie.jp

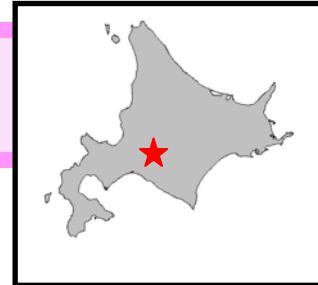
活動内容

1 活動内容
伊勢市消防団の団本部に所属する女性消防団員は、応急手当指導員として、市民に対する応急手当の普及啓発活動に大きな役割を担ってきました。

また、平成18年からは、幼稚園、保育所での防火指導において、寸劇、紙芝居を使った防火教室を開催し、火災予防の啓発に努めてきましたが、東日本大震災を期に子供たちに防災意識を身に着けることも大切であると考え、子供向けの防火・防災ソング「どすこいどすこい　だいじょうぶ」を作詞作曲し振付の全てを団員が考え、マスコットの「いせりい」も手作りして地震や津波、火事などから身を守る方法を指導しています。



女性消防分団が誕生



消防団概要

- ①都道府県名 北海道
- ②消防団名 夕張市消防団
- ③実員数 213名〔うち女性団員20名〕
- ④消防団事務局 夕張市消防本部 管理課管理グループ
TEL 電話番号 0123-53-4121
- ⑤HPアドレス なし

1 女性分団の発足について

平成24年4月1日付けて当市に女性消防分団が誕生。地域防災に対し女性の持つソフト面を活かし、広報活動及び高齢者宅の訪問、住民に対する防災教育など、いたわりの心と強い信念で安心して暮らせる街づくりの一役を担う目的のため発足しました。



活動内容

消防訓練においては、女性団員による傷病者搬送法を実施。男性団員のような活動ができない以上、そこにいる傷病者を安全な場所へ搬送する活動ならできるのではないかと考えたもので、女性団員による展示後、男性団員も訓練をしました。



女性消防団員基礎教育訓練



消防団概要

- ①都道府県名 神奈川県
- ②消防団名 厚木市消防団
- ③実員数 557名〔うち女性団員11名〕
- ④消防団事務局 厚木市消防本部消防総務課 消防総務係
TEL 電話番号 046-221-2331
- ⑤H P アドレス 6300@city.atsugi.kanagawa.jp

1 活動内容

厚木市消防団女性消防団は、平成17年7月の発足以来、地域の安心・安全を守るために精力的な活動を続けています。昨今では、南関東直下地震などの大規模災害の発生も懸念されており、これらの災害に確実に対応していくためには、女性消防団員も含めて団員一人ひとりの資質向上を図る必要があります。

このような状況を踏まえ女性消防団員基礎教育訓練を実施しました。

活動内容

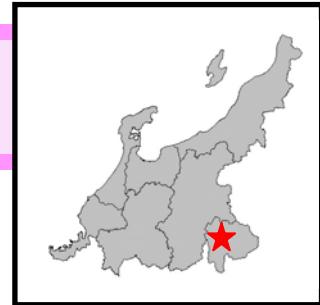


訓練では、大規模災害を想定した倒壊家屋からの要救助者救出訓練などを実施、想定訓練では、特殊な資機材は使わず、近くにある材木などを活用しながら、団員間で連携し迅速確実な活動をすることができました。



消防団概要

女性消防団員による予防啓発活動



- ①都道府県名 山梨県
 ②消防団名 甲斐市消防団
 ③実員数 575名〔うち女性団員7名〕
 ④消防団事務局 甲斐市役所総務部消防防災対策室
 TEL 電話番号 055-278-1676
 ⑤HPアドレス <http://www.city.kai.yamanashi.jp/>

1 活動内容

今年度から採用された市職員が、研修を兼ね2年間消防団に入団することとなった。それにより、1名しかいなかった女性団員が7名となり、女性団員ならではの活動を積極的に行い、市職員以外の女性団員の確保を図るために、秋の全国火災予防運動に併せ、火災予防啓発活動及び消防団のPR活動を実施した。

当日は、JR竜王駅・JR塩崎駅にて啓発ティッシュ及び団員募集チラシを約700個配布した。

活動内容



甲斐市消防団員募集

『自分達の甲斐市は、自分達で守る!』

甲斐市消防団では、地域防災の要となる消防団員を随時募集しています。18歳以上で、市内在住もしくは、市内に勤務されている方であれば、男女問わず入団できます。

地域防災の要！消防団

消防団とは消防署と同様に消防法に基づき、市町村に設置される消防機関です。地域をよく知りそこで暮らし働く消防団員は、地域における消防防災の要として、平常時災害時を問わずに、地域に密着し、安心安全を守っています。

東日本大震災や、近年頻発する集中豪雨等においても消防団員は、災害の拡大を食い止め、住民の生命・財産を守るべき役割を果たしました。

消防団員の待遇

消防団員は普段は別に仕事を持ちながら、非常勤公務員として活動します。年額報酬や出勤手当、退職報償金などが支給されます。活動中に負傷したときは、公務災害補償を受けることができます。

消防団員の活動

予測できない災害から地域を守るために、消防活動はもちろん、地盤や県水害など大規模災害時の救助・避難指導・警戒説明にあたるとともに、平素時には住民への防火・防災・消防の啓発活動等の各割を担っています。

消防団活動を通じて、地域の色々な職業の幅広い年代の人たちと知り合ったり、思いもよらない貴重な経験を得られます。

女性消防団員

女性消防団員は、今後ますます

必要とされる存在で、全国的に増加傾向にあります。甲斐市でも7人が女性消防団員として活動しています。

女性の優しさや、細やかな配慮活動が、地域とのつながりをさらに深めてくれます。

女性団員も訓練に参加します



秋の全国火災予防運動実施中

期間「平成24年11月9日～11月15日」

2012年度全国統一防火標語

『消防までは、出ない行かない 離れない』

問い合わせ

甲斐市役所(本館3階)消防防災対策室 電話 055-278-1676

消防団概要

活動内容

内 容

女性消防団 ポピーズ通信

消防団概要

- ①都道府県名 愛知県
- ②消防団名 長久手市消防団
- ③実員数 145名〔うち女性団員9名〕
- ④消防団事務局 長久手市消防本部 消防係
TEL 電話番号 0561-62-7886
- ⑤HPアドレス なし



1 活動内容

長久手市女性消防団は、「長久手ポピーズ」という愛称で、現在9名で活動しています。

活動をPRするための広報誌「ポピーズ通信」を作成して防災訓練、市民まつり、防火点検等で配布しています。

長久手市消防団 女性消防団員

ポピーズ通信

vol. 2

●長久手ポビーズについて

消防団員とは、非常勤で専別職の地方公務員です。私たち女性消防団員は、「長久手ポビーズ」という愛称で、現在9名で活動しています。

ポビーズには、会社員や介護師、学生など様々な立場の人があり、休日を利用して、主に防火啓発、広報活動などをしています。





●新入団員の紹介

平成24年4月に新しい団員が2名入り、ポビーズは9名になりました。

この新入団員の2名は、「消防団に興味があります！」と消防署に電話をかけてきた人、やる気満々の方たちです。

さまざまな訓練や広報活動を経験し、消防団員としての活躍を期待しています。

新メンバーを加え、これからもポビーズみんなで力を合わせて、長久手市のために頑張ります。

メンバー紹介



●定期活動の紹介

『防火点検』

土日の休日を利用して、市内のひとり暮らしをされている65歳以上の万のお宅を訪問しています。

火の周りの環境や住宅用火災警報器・消火器などの設置の点検をしています。

ガスレンジの周りに燃えやすい物は置いていませんか？

『防火広報』

春・秋の火災予防運動期間や年末の特別警戒の夜間に、市内を広報車で巡回し、防火を呼び掛けています。

「こちらは長久手市女性消防団です。お休み前に火の元は確認してね…」

『初期消火指導&消防団PR活動』

防災訓練などで消防器を使った初期消火の指導をしています。

また、市民まつりや各種防災イベントでは、防火啓発や消防団のPRもしています。

正しい消防器の使い方わかるかな～？

私たち消防団を応援してください！

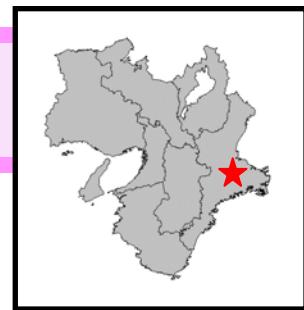
配布時の市民、団員からの声は以下のとおりでした。

- ・似顔絵が入って親しみやすい
- ・字が大きくて、カラフルで読みやすい
- ・消防団の活動内容が把握できた
- ・第1号の配布後、2名の女性団員が記事を見て入団した

女性消防団員による多機能型車両訓練

消防団概要

- ①都道府県名 三重県
②消防団名 津市消防団
③実員数 2,186名 [うち女性団員87名]
④消防団事務局 津市消防本部消防総務課 消防団担当
TEL 電話番号 059-254-1602
⑤HPアドレス 254-0351@city.tsu.ig.jp



活動内容

1 目的

津市消防団は市町村合併以前の体制を引き継ぐ形で連合消防団方式で運営されていたが、平成22年4月1日から一市一団方式の新しい組織体制となった。

また、全国的に消防団員が減少している傾向を受け、津市においてもその対策として平成22年4月1日より機能別消防団員制度を導入し、火災活動に限定した活動を行っている。

2 災害対応・訓練

大規模災害が危惧される中、組織再編されたそれぞれの方面団が連携して災害対応ができるように、市防災訓練や県協会支部主催の訓練では連携を重視した訓練を行っている。

また、津波対策として沿岸部を管轄する消防団員の安全確保のための資機材（ライフケット、拡声器）の配備や火災活動での安全管理や活性化を目的に防火衣を新調し配備を進めている。

このほか、女性分団が多機能型車両を点検維持し、積載されている資機材の取扱訓練を実施、出動できる体制を整備している。



女性分団による資機材取扱訓練

特
記
事
項

3 広報・P R・予防活動

主に女性団員による予防啓発及び消防団員募集の活動を火災予防運動期間中の行事として大型店舗等での広報活動を実施している。

女性消防団員の活性化を目的に消防出初式や消防音楽隊演奏会において防災劇を展開し、東日本大震災を受け、防災ずきんの作成講習会も開催するようになり、多くの市民に広報活動を行い、ソフトな消防団の魅力を P R、地域住民から好評を得ている。

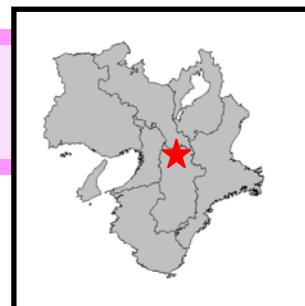


防災劇



防災ずきん作成講習会

やまとなでしこ体操



消防団概要

- ①都道府県名 奈良県
②消防団名 奈良市消防団
③実員数 986名〔うち女性団員39名〕
④消防団事務局 奈良市消防局 総務課 総務管理担当
TEL 電話番号 0742-35-1199
⑤HPアドレス shoubou-soumu@city.nara.lg.jp

活動内容

奈良市消防団では、平成21年4月に女性消防団員で構成する広報指導分団（やまとなでしこ隊）を発足し、活動にあっては社会情勢の変化に伴い地域住民に対して新たな活動が課せられており、応急手当グループ、幼児高齢者グループ、カラーガードグループと3つのグループを編成し効果的な活動を行っている。

広報指導分団が発足して3年が経ち、団員全員が応急手当指導員として活動できる体制づくりを目標とし、3つのグループが一丸となって、音楽のリズムに合わせて、心肺蘇生法を覚え易く体操にして、子どもからお年寄りまでの年齢層幅広く参加できるように工夫し、市民の体力作りと消防団員も元気いっぱい活動出来ることを願って作成しました。



こども 防災フェス2012



消防団概要

- ①都道府県名 高知県
- ②消防団名 四万十市消防団
- ③実員数 593名〔うち女性団員17名〕
- ④消防団事務局 幡多中央消防組合 四万十消防署
TEL 電話番号 0880-34-5881
- ⑤HPアドレス なし

1 こども 防災フェス2012

四万十市消防団は、初めての試みで、隣町の黒潮町消防団と一緒に、消防署はもちろん自衛隊、日本赤十字のご協力もいただき、「こども★防災フェス2012」を開催しました。

「自分の命は自分で守る」をテーマに、米海軍日本管区司令部消防隊 予防課長長谷川祐子氏による消防防災に関する実践的な講演会や各種の体験を通して、消防防災知識・防災力の向上を目指したもので、保護者、地域の方への参加も促し、未来の消防団員の育成の必要性を実感していただくと共に、防災教育の指導の仕方を学んでいただくことを目的としました。

活動

消防団が教える防災教室

動

消防団員が指導し、身の回りの物で物作りを行いました。

- ・ 牛乳パックで「カレー皿」
- ・ 段ボールで「机・仕切り」「トイレ」
- ・ ビニールシートで「テント」
- ・ ごみ袋で「レインコート」「布団」
- ・ 三角コーンで「太陽炉」

内

お仕事体験

容

災害現場での仕事について体験ブースを設けました。

- ・ 消防車で放水訓練、消火器の使い方を指導（消防団）
- ・ はしご車体験乗車、ロープでの登り降り（消防署）
- ・ ロープ結びを学ぶ（自衛隊）
- ・ 救急救護体験（日本赤十字社）

特
記
事
項

2 特記事項

開催するにあたり、事前に指導方法の研修を行い、参加者にケガがないよう細心の注意を払いました。

当日は、朝から夕方までのイベントでしたが、参加者に対し自衛隊がカレーの炊き出し訓練の試食を行ってくださったことや、ポイントラリー形式にしたことが参加者の長期滞在につながったと思います。

また、開催後にアンケートを取り、なかでも消防団が教える防災教室の評判がよく、「地域の一体型を感じた」「地域に消防団がいることを心強く感じた」という声をいただき、消防団を身近に感じてもらうことができたと実感しています。

今後も、他の関係機関の力を借りしながら、地域の方たちの防災への意識改革を行っていくと共に、消防団活動への理解と重要性を伝えていきたいと考えています。



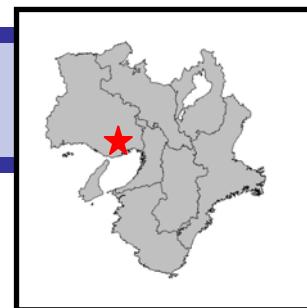
消防団員による防災教室



体験ブース 消防車での放水体験

消防団概要

消防大会を開催



- ①都道府県名 兵庫県
②消防団名 三木市消防団
③実員数 1,335名 [うち女性団員3名]
④消防団事務局 三木市消防本部 総務課
TEL 電話番号 0794-82-0170
⑤HPアドレス <http://www.city.miki.lg.jp>

1 活動内容

三木市消防団では、平成24年度三木市消防大会を開催しました。複雑多様化する災害に対処するため、消防人の自覚と士気の高揚を図るとともに、市民と消防の信頼関係を構築し、災害のない明るい町づくりを進めることを目的としています。

第1部では、消防職団員の部隊、車両行進、消防団員によるファイヤーツリーと称した地上26mの巨大タワーの一斉放水を披露しました。

第2部では、消防団と市民のふれあいを重視した「消防ふれあいコーナー」を設け、写真撮影会や水消火器での初期消火体験、放水体験、救急法の指導等を行った。

大会のフィナーレでは、はしご車と子供たちとの綱引き対決を行い、最初はびくともしなかったはしご車が子供たちの力が一つになった瞬間、少しづつ動き出し見事に子供たちが勝利しました。

活動内容



一斉放水



はしご車との綱引き対決

消防団概要

- ①都道府県名 岩手県
 ②消防団名 一関市消防団
 ③実員数 2,863名 [うち女性団員36名]
 ④消防団事務局 一関市消防本部
 TEL 電話番号 0191-25-5910
 ⑤HPアドレス shobosomu@city.ichinoseki.iwate.jp



活動内容

1 目的と経過

地域住民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、消防団活動の理解を深めることを目的として、地域の防災拠点である消防屯所のシャッターに地域住民と協同でイラストをペイントする事業を実施しました。

この事業は、一関市が地域住民と行政との創意工夫により地域を元気にすることを目的とした「いちのせき元気な地域づくり事業」を活用し実施したものです。



2 活動内容

① イラストの選定

消防屯所のシャッターに描くイラストは、地域の子供たちから募集し、美術系の専門家と各分団長からなる審査委員会で選定しました。

② ペイント作業の実施

ペイント作業は、地元消防団員が中心となり、地域住民をはじめ、イラストを考えた子供たちやPTA及び地域の自主防災組織などが多数参加し、協力して実施しました。

活動内容

特記事項

③ 災害用非常食の試食

ペイント作業は、1日がかりで行われるため、昼食にアルファ米などの災害非常食を試食しました。



3 特記事項

今回のイラスト選定にあっては、地域の全23小中学校の子供たちから447点の応募があり、事業に対する関心の高さがうかがえました。

また、ペイント作業には総勢362名が参加し、作業を通じて世代を超えての交流や、消防団活動への理解と防火・防災についての意識の高揚が図られたとともに、地域の「絆」を深めることができました。

ペイント実施後の消防屯所には、通行人が止まり記念撮影をするなど、普段目立たなかった消防屯所が一躍注目される存在となりました。

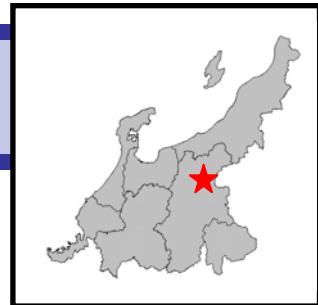
今回の事業での協同の取り組みを期に、地域に根ざした消防団活動を通して今後も地域住民と安全・安心な地域づくりを進めて参ります。



広報部会による活動

消防団概要

- ①都道府県名 長野県
 ②消防団名 上田市消防団
 ③実員数 2,252名
 ④消防団事務局 上田市消防団事務局
 TEL 電話番号 0268-26-0119
 ⑤HPアドレス <http://www.city.ueda.nagano.jp/pc/shoboudan/>



活動内容

上田市消防団は、平成18年3月、上田市、丸子町、真田町、武石村の1市2町1村が合併し「新上田市」が誕生したことにより、消防団も同年4月に結団式を行い、消防団員数2,490名（定数）の新上田市消防団として発足いたしました。現在、1本部、8方面隊、29個分団、音楽隊、ラッパ隊、救護隊、女性消防隊（ペナテス）、バイク隊で構成しています。

また、団本部と各分団の広報責任者により構成する「広報部会」は、消防団の活動を地域住民へ理解してもらうため、様々な取組みを行っています。

広報部会は、新聞、テレビ（ケーブルテレビ）、インターネット、各種専門誌などの取材対応や、各分団や方面隊の広報活動の支援などを行い、あらゆる媒体を使って消防団のアピールに努めています。



● 広報誌の発行

すべての分団が、独自に工夫を凝らした広報誌を年数回定期発行しています。広報紙では、団員の紹介、ポンプ操法、ラッパ吹奏大会の選手紹介や結果報告、火災想定訓練の報告、防火の豆知識など、日ごろの身近な話題、活動について写真などを掲載し、より分かりやすく地域住民に紹介しています。

● 公式ホームページの運営

公式ホームページは、分団の特徴、団員構成、装備、活動内容など催事の模様、また、予定されているイベントの告知など常に新しい情報を掲載しています。各分団・各隊のホームページは、統一した形式で運営するため、広報部員向けのパソコン講習会を開催し、ページ作成のノウハウを学び、生きた情報の掲載を心がけています。



パソコン講習会

分団による広報誌やポスター制作、ホームページでの消防団活動の紹介は、大切な市民の生命・財産を守るという消防団の使命を市民へアピールする効果的な取り組みであると思います。

少子高齢化時代を迎えるにあたり、団員数の減少という大きな問題に直面する今、身近な消防団の必要性を少しでも多くの市民へ情報を提供し、活動への理解や団員確保へつなげるために、広報部会としてより一層、魅力的な広報活動を推進していきます。

その他の活動事例

| 分類 | 都道府県 | 団体・消防団名 | 活動内容 |
|---------|------|------------------|--|
| 消防団員確保 | 千葉県 | 木更津市消防団 | 年に数回、消防団募集について広報紙や地元FM放送のインフォメーションコーナーで市民に呼びかけている。 |
| 消防団員確保 | 大阪府 | 泉佐野市消防団 | 消防団の活動を地域住民に紹介し、消防行政に対するさらなる理解と信頼を得て、地域に根付いた消防団活動を推進する目的で、年2回、消防団広報誌「火消瓦版」を発行しています。 |
| 消防団員確保 | 愛知県 | 新城市消防団 | 消防団経験があるOBが地域支援団員として緊急時に備えています。また、若い団員を確保するため、消防防災フェスタでのポスターの掲示などのPR活動をしています。 |
| 消防団員確保 | 神奈川県 | 川崎市川崎消防団 | 地下街自由通路に設置してある展示コーナーを予防広報の一環で借用し、消防団員募集ポスターや厚紙で作成した庁舎やはしご車の模型、出初式の拡大した写真等を掲出しています。 |
| 消防団員確保 | 三重県 | 鳥羽市消防団 | 退団者への再入団の勧誘や、市広報紙への消防団員募集記事を掲載しています。 |
| 消防団員確保 | 石川県 | かほく市消防団 | かほく市では、FMかほく放送での呼びかけや、成人式でのパンフレット配布、広報誌、イベントでの活動写真の掲示などを行い団員募集をしています。 |
| 消防団員確保 | 石川県 | 輪島市消防団 | 平成24年7月から新たに機能別消防団員を採用、消防吏員、消防団OBに対して勧誘を行っている。また各団員が地域住民に対して積極的な勧誘の声かけを実施している。 |
| 消防団員確保 | 石川県 | 小松市消防団 | 消防団への入団促進について、企業への出前セミナー やイベント等で各分団長が消防団のPRを行っている。将来的には消防団サポートショップも運用していく予定です。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 三沢市消防団 | 消防のつどい及び消防フェスタなどのイベントを通じ、PR活動を行うとともに、分団長に管轄区域内の勧誘活動を行っている。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 六戸町消防団 | 消防団員確保対策として、町のホームページ、町広報誌（年3回程度）で呼びかけを行っている。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 板柳町消防団 | 分団長、副分団長及び部長が中心となり、分団担当区内の各家庭を訪問し、消防団の仕組み、消防団活動を説明して消防団員の確保をしている。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 鰺ヶ沢町消防団 | 毎年1月17日鰺ヶ沢町大火記念日に消防団車両による防火広報パレード時に配布するチラシに消防団募集を掲載している。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 青森市青森消防団 | 市、消防広報誌や防火管理講習での団員募集、公共機関の掲示板でのポスター掲示を実施している。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 青森市浪岡消防団 | 市の広報誌や回覧板を利用しての消防団員募集を呼びかけている。 |
| 消防団員確保 | 青森県 | 十和田市消防団 | 市広報誌への掲載や、成人式での団員募集チラシの配布を実施。消防団員募集カレンダーも作成しました。 |
| 訓練・災害対応 | 兵庫県 | 太子町消防団 | 消防操法には小型ポンプとポンプ車によるものがあるが、太子町では、消防署の協力で消火栓操法を約25年実施している。このことは、小型ポンプやポンプ車を有しない分団の技能向上に寄与している。 |
| 訓練・災害対応 | 兵庫県 | 神戸市長田消防団 第8分団 | 管轄区域に港湾があることから、ポンプ操法訓練などの一般的な訓練だけでなく、漁船を出してもらって要救助者にアプローチする水難救助訓練を実施している。 |
| 訓練・災害対応 | 神奈川県 | 大磯町消防団 | 消防団員の消防技術向上及び士気をあげることを目標に、「器具取扱い訓練」と「ポンプ取扱い訓練」を2日に分け1日1分団が実技訓練を行い、質の高い訓練を心がけている。 |
| 訓練・災害対応 | 千葉県 | 四街道市消防団 | 消防団の救助救出訓練を実施しました。地震による建物の倒壊を想定し、救出救護、搬送方法を習得するもので、特別救助隊の指導により、大規模災害対応能力の向上を図りました。 |

| 分類 | 都道府県 | 団体・消防団名 | 活動内容 |
|---------|------|--------------------------|--|
| 訓練・災害対応 | 神奈川県 | 大和市消防団 | 大規模災害が発生した場合、消防団と消防署の円滑な連携活動が不可欠となる。このため從来から実施していた車両点検時に短時間の消防隊との合同訓練を実施している。 |
| 訓練・災害対応 | 北海道 | 富良野広域連合 占冠消防団 | 月に1回の実災害に備えた消防訓練を実施しており、訓練時に毎回、団員の健康状態を把握するための「ヘルスチェックシート」の記入を実施し、健康配慮義務を果たしている。 |
| 訓練・災害対応 | 兵庫県 | 宝塚市消防団 | 平成24年8月26日、兵庫県立宝塚西谷の森公園において、中継送受水訓練や直列高圧送水訓練を実施した。実践的なポンプ操作訓練や機械器具取扱訓練を実施することができ、今後の災害に強い消防団に向けて充実した訓練となつた。 |
| 訓練・災害対応 | 栃木県 | 真岡市消防団 | 真岡市内に地震等の甚大な被害が生じた場合における、真岡市消防団の組織的で迅速な出動体制と円滑で効率的な初動活動等について定めた。平成24年5月6日に発生した竜巻被害において、竜巻発生直後、地震災害対応マニュアルに基づき、被災地域の被害状況確認や、高齢者世帯及び要援護者の安否確認を行つた。 |
| 防災教育 | 神奈川県 | 川崎市高津消防団 | 中学校で行われる職場体験学習を発展させ、地域防災力の充実強化を図るために「ジュニア・ハイ・スクール消防隊」事業を実施しています。この事業に参加している区内4中学校に震災用消火資材としてホース3本、筒先1本及び消火栓開閉器具をセットにして寄贈した。 |
| 組織編成 | 福岡県 | 嘉麻市消防団 | 組織の再編を行い、平成24年4月1日より新体制を発足させた。1団7分団24分隊体制とし、女性部を設置し、予防活動の一層の推進のため女性部長を任命しました。団が一つにまとまるきっかけ作りにもなり、防災力向上のため、より一層の努力を重ねたいと思います。 |
| 機能別団員 | 福岡県 | 大牟田市消防団 | 平成24年4月1日より、65歳以下の退職団員の中から希望者を機能別団員として再任用している。所属は退職時の分団とし、管轄内の建物火災に出席する。ベテラン団員による技術の伝承があり、分団の充実強化につながっている。 |
| 支援団員 | 愛知県 | 一宮市消防団 | 平成24年4月1日から7方面隊を4方面隊に組織を再編成し、支援団員制度を導入した。大規模災害や昼間の建物火災に限定して活動する支援団員だが、現在、定数に達していないため、今後、積極的な広報活動が必要である。 |
| 女性消防団員 | 北海道 | 岩見沢地区 消防事務組合 月形消防団 | 高齢者防火訪問時に女性消防団員による手作り防火PRグッズを配布している。今年度は以前にも配布し好評だった「アクリル毛糸エコたわし」を配布、消防団が身近な存在であることを理解していただいている。 |
| 広報・P R | 神奈川県 | 平塚市消防団 | 毎年、消防署が行っている平塚市消防フェスティバルに消防団も参加して、操法の披露や模擬店を出店している。消防団のP Rに繋がる活動であり、今後も継続していく予定です。 |
| 広報・P R | 長崎県 | 佐世保市消防団 | 火の用心バザーを開催、市の広報誌や商工会議所の月刊誌に、消防団の特集を組んでいます。 |
| 広報・P R | 石川県 | 金沢市消防団連合会 | 金沢市消防団連合会では、加賀とびはしご登り保存会を結成して江戸時代から伝わる加賀鳶梯子登りの保存継承に努めている。 |
| 広報・P R | 石川県 | 内灘町消防団 | 消防団活動の重要性を広報することを目的として、毎年1月4日に行われる町消防団出初式や河北郡消防連合会出初式などで、火災防ぎよ活動や防災訓練等での活動写真を掲示しています。 |
| 広報・P R | 石川県 | 津幡町消防団 | 広報・P R活動として、ケーブルテレビ放映、HP掲載、女性消防団員による住宅防火訪問を実施している。また、出初式や防災訓練などの活動写真の展示も行っている。 |

その他の活動事例の紹介



大阪府 泉佐野市消防団



三重県 鳥羽市消防団



青森県 鮫ヶ沢町消防団



青森県 十和田市消防団



北海道 月形消防団



川崎市川崎消防団



千葉県 四街道市消防団



神奈川県 大和市



北海道 富良野広域連合占冠消防団



兵庫県 宝塚市消防団



栃木県 真岡市消防団



神奈川県 川崎市高津消防団



愛知県 一宮市消防団



神奈川県 平塚市消防団



石川県 かほく市



長崎県 佐世保市消防団



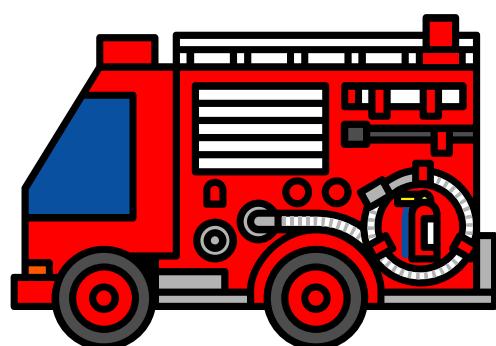
石川県 金沢市消防団連合会



石川県 津幡町消防団



青森県 三沢市消防団



第Ⅲ章

新時代に対応した消防団 運営方策の普及に係る講座



平成24年度 新時代に対応した消防団 運営方策の普及に係る講座 実施状況

日本消防協会では、消防団員の確保や消防団組織の充実強化、活性化を一層促進していくことを目的に、団員確保対策、組織運営、住民へ啓発指導、災害対応に関する具体的な方策について講座を開催しています。

また、最前線で活動する各地の消防団員や防災関係者と講師が意見を交換する場を設けることにより、現場の声を集約し、今後の消防団運営の一層の活性化に役立てたいと考えています。今年度は、計21回実施しました。

各講座実施状況

【1】在日米海軍司令部地域統合消防隊 予防課長 長谷川 祐子 氏

- 平成24年 5月13日（日）愛知県津島市 参加人員 480名
演題「火災や災害から子供を守るアメリカの知恵」
- 平成24年10月26日（金）岐阜県古川町 参加人員 73名
演題「アメリカ式防火・防災教育と大規模災害時の戦い方」
- 平成25年 1月20日（日）滋賀県大津市 参加人員 280名
演題「アメリカの防火・防災教育～今までと違う新しい考え方を学ぼう～」



【2】宮城県東松島市消防団 前団長 阿部 賢一 氏

- 平成24年 9月 9日（日）東京都千代田区麹町 参加人員 163名
- 平成24年10月26日（金）長野県長野市 参加人員 174名
- 平成25年 2月22日（金）高知県高知市 参加人員 127名

演題「東日本大震災における活動事例について
～あの日を忘れず ともに未来へ～」



【3】茨城県阿見町消防団 部長 山本みゆき

- 平成24年 9月13日（木）北海道芽室町 参加人員 61名
- 演題「いま、出来ることから」



【4】公益財団法人 東京防災救急協会 講習指導部長 谷口 由美子 氏

- 平成24年 9月29日（土）愛媛県西予市 参加人員 151名
- 演題「地域の防火防災に果たす女性消防団員の役割」
- 平成25年 1月27日（日）山口県美祢市 参加人員 111名
- 演題「これからの時代における消防団員のあり方」



【5】三重県松阪市消防団 統括団長 田所 照朗 氏

○ 平成24年 9月30日（日）埼玉県所沢市 参加人員 28名

○ 平成24年10月30日（火）宮城県仙台市 参加人員 120名

演題「消防団員の確保対策について」



【6】埼玉県日高市消防団 相談役 猪俣 利雄 氏

○ 平成24年10月14日（日）北海道稚内市 参加人員 123名

演題「埼玉県 日高市消防団の活性化実例」



【7】Blog防災・危機管理トレーニング 主宰 日野 宗門 氏

○ 平成24年10月27日（土）石川県金沢市 参加人員 31名

演題「地震と津波対策～状況予測型図上訓練～」



【8】公益財団法人長野県消防協会 参与 五十嵐 幸男 氏

○ 平成24年11月1日（木）北海道帯広市 参加人員 200名

演題「魅力ある消防団づくり」



【9】滋賀県野洲市消防団 元副団長 山本きぬ江 氏

○ 平成24年11月8日（木）愛媛県四国中央市 参加人員 64名

演題「これから女性消防団員の活躍」



【10】東京都赤羽消防団 副団長 小澤 浩子 氏

○ 平成24年11月20日（火）宮城県仙台市 参加人員 96名

演題「共に守る明日に向けて～女性団員の活動の広がり～」

○ 平成25年 2月10日（日）熊本県熊本市 参加人員 220名

演題「共に守る明日のために～女性消防団員の活動の広がり～」



【1 1】川崎市消防防災指導公社 事務局長 中村 敏一 氏

- 平成24年11月25日（日）愛媛県松山市 参加人員 107名
演題「図上訓練体験研修～実践的な災害対応力の強化～」
- 平成25年 1月20日（日）三重県四日市市 参加人員 60名
演題「図上訓練体験研修～実践的な災害対応力の強化～」



【1 2】岩手県山田町消防団本部 副分団長 大石 秀男 氏

- 平成24年12月 2日（日）三重県津市 参加人員 136名
演題「東日本大震災における消防団活動について」



【1 3】茨城県北茨木市消防団 分団長 福田 良子 氏

- 平成25年 2月17日（日）島根県浜田市 参加人員 300名
演題「女性消防団だからできること」



日本消防協会からのお知らせ



消防団活動事例ページのご案内

閲覧場所へのアクセス方法 ①

日本消防協会ホームページに
アクセスしてください。
<http://www.nissho.or.jp>

右側メニュー内
【消防団活動事例】を
クリックしてください。



閲覧場所へのアクセス方法②

【消防団活動事例】下部メニュー欄から
ご覧になりたい項目を
クリックしてください。

※通常時は右側の図のよう
【訓練・災害対応】のページが表示されます。



閲覧場所へのアクセス方法 ③

右図、赤点線枠内の各消防団名をクリックしてください。

※【PDF】データが別ウインドウで開きます。



クリック

[消防団活動事例](#)

[訓練・災害対応](#)

[平成21年度](#)

- 大規模火災を想定した訓練を実施（北海道・伊倹東部・厚木組合浜中・厚木田）
- 「夏季訓練会」大規模災害対応訓練（神奈川県・横浜市北・桜新町）
- 火災を想定した巡回訓練を実施（神奈川県・横浜市鶴見・前田）
- 多数船員訓練を導入化（埼玉県・坂戸市・岸和田）
- 防災機器と連携強化訓練を実施（千葉県・君津市・印旛田）
- 災害対応巡回訓練を実施（三重県・松原市・津田）
- 救助における個人行動訓練を実施（山口県・石国市・那方田）
- 技術と団結心を向上 応急操法を実施（岡山県・和木町・那方田）
- 機動勤務活動及び合同活動を実施（福岡県・福岡市・太上・前田）
- 多機能型消防車両を活用した訓練（福岡県・大野城市・厚木田）

[平成20年度](#)

- 定時火災演習（非常指揮訓練）を実施（北関東・西竜・厚木田）

各消防団の記事がご覧いただけます
(画像はサンプルです)



全国消防団PRページへの登録方法

無料で、各消防団の情報を掲載し、消防団の活動内容等をPRする事ができます。
(登録は消防団単位とします)

登録手順①

日本消防協会ホームページに
アクセスします
<http://www.nissho.or.jp>

画面右下の【全国消防団PR】を
クリックします。



登録手順②

右図のページが表示されましたら
画面中央の【PRページ申請画面】
をクリックします。



登録手順③

右図の項目欄に入力してください。
※尚、添付する画像のサイズは
80KBまでとします。

入力が終了しましたら、画面下部の
【次へ】をクリックします



登録が完了されました。

後日、【全国消防団PR】ページ内に情報が公開されます。

